

# 1. 学則案の全文

○摂南大学学則（案）

昭和50年1月10日

学園106

## 第1章 総則

（目的）

第1条 摂南大学(以下「本大学」という)は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教授研究するとともに、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。

## 第2章 組織

（学部、学科および教育研究上の目的）

第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
理工学部	生命科学科 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
国際学部	国際学科
経営学部	経営学科
薬学部	薬学科
法学部	法律学科
経済学部	経済学科
看護学部	看護学科
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科
現代社会学部	現代社会学科

2 理工学部生命科学科は、バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理の追究により、人が健康で安全な生活を営むための医療や食品や環境に関する分野で活躍する基礎研究者および研究開発従事者を養成することを目的とする。さらに、創薬科学、医療科学、環境衛生科学などの分野を教育研究することで、人の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけた人材を養成することを目的とする。

3 理工学部住環境デザイン学科は、住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を

修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成することを目的とする。

- 4 理工学部建築学科は、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成することを目的とする。
- 5 理工学部機械工学科は、人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成することを目的とする。
- 6 理工学部電気電子工学科は、電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を養成することを目的とする。
- 7 理工学部都市環境工学科は、複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 国際学部国際学科は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 経営学部経営学科は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養あわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 10 薬学部薬学科は、高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。
- 11 法学部法律学科は、幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなす人間力を持った人材を養成することを目的とする。
- 12 経済学部経済学科は、経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題に積極的に取り組むことのできる知的・専門的経済人を養成することを目的とする。
- 13 看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。
- 14 農学部農業生産学科は、生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 15 農学部応用生物科学科は、生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを目的とする。

とする。

16 農学部食品栄養学科は、農学の学びを基盤として、食のプロセス(農産物の生産から加工・流通・消費まで)を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。

17 農学部食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを目的とする。

18 現代社会学部現代社会学科は、社会学を基礎とした幅広い見識を有し、社会学的想像力と実践力を身につけた、現代社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知的専門職業人を養成することを目的とする。

(別科)

第2条の2 本大学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については、留学生別科規定に定める。

(収容定員)

第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
理工学部	生命科学科	105名	5名	430名
	住環境デザイン学科	85名	5名	350名
	建築学科	80名	5名	330名
	機械工学科	130名	5名	530名
	電気電子工学科	105名	5名	430名
	都市環境工学科	80名	5名	330名
	計	585名	30名	2400名
国際学部	国際学科	250名	5名	1,010名
経営学部	経営学科	280名	6名	1,132名
薬学部	薬学科	220名	—	1,320名
法学部	法律学科	280名	5名	1,130名
経済学部	経済学科	280名	4名	1,128名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名
現代社会学部	現代社会学科	250名	—	1,000名

(職員)

第4条 本大学に、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長、就職部長、研究支援・社会連携センター長、グローバル教育センター長、学科長、教室主任その他必要な職員を置

く。

(各職員の職務)

#### 第5条

- 1 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。
- 2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行う。
- 3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部所属する職員を指揮監督する。
- 4 教務部長および学生部長は、学長を補佐し、その命を受けて部内の業務を掌理するとともに、各学部間の調整を行う。
- 5 事務局長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。
- 6 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 7 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 8 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。
- 9 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 10 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 11 研究職員は、教授、准教授、講師および助教の職務を補助し、または指導を受け研究に従事する。
- 12 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 13 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

#### 第6条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

- 2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長および就職部長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(教授会)

#### 第7条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - イ 学生の入学および卒業に関すること
  - ロ 学位の授与に関すること
  - ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第8条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 評価委員会
- ロ 教員選考・活動評価委員会
- ハ 入試委員会
- ニ 教務委員会
- ホ FD委員会
- ヘ 学生委員会
- ト 図書館運営委員会
- チ 就職委員会
- リ 情報メディアセンター運営委員会
- ヌ 人権侵害防止委員会
- ル 個人情報保護委員会
- ヲ グローバル教育センター運営委員会

- 2 評価委員会は、自己点検・評価および第三者評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
- 3 教員選考・活動評価委員会は、教員の採用および昇任の資格審査、研修ならびに教員活動評価に関する事項を審議する。
- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、合否判定その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 FD委員会は、学長の諮問に応じて本大学の授業内容と授業方法の改善に関する事項を審議する。
- 7 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 10 情報メディアセンター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報メディアセンターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 11 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 12 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 13 グローバル教育センター運営委員会は、学長の諮問に応じてグローバル教育センターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 14 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第8条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

### 第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を2期に分ち、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までと

する。ただし、学長は、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第11条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日

ロ 本学園創立記念日(10月30日)

ハ 春期休業日 3月25日から4月4日まで

ニ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで

ホ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

#### 第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

理工学部 4年

国際学部 4年

経営学部 4年

薬学部 6年

法学部 4年

経済学部 4年

看護学部 4年

農学部 4年

現代社会学部 4年

(在学年限)

第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。

理工学部 8年

国際学部 8年

経営学部 8年

薬学部 12年

法学部 8年

経済学部 8年

看護学部 8年

農学部 8年

現代社会学部 8年

2 前項にかかわらず、第19条および第20条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

#### 第5章 入学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第10条に定める学期の区分に従い、

入学させることができる。

(入学資格)

第15条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

- イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)
- ハ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ニ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ホ 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ヘ 文部科学大臣の指定した者
- ト 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)
- チ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学志願手続)

第16条 本大学への入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第40条に定める入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 入学志願者の選考は、教授会の議を経て、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、学費納入規定に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学、転入学および再入学)

第19条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に編入学を許可することがある。

イ 大学を卒業した者

ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者

ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者

ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者

ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のう

え相当年次に転入学を許可することがある。

イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者

ロ 外国の大学に入学し、履修歴のある者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。

イ 本大学を卒業した者

ロ 本大学を退学した者

ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者

4 その他編入学、転入学および再入学については、編入学規定、転入学規定、再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部または転学科)

第20条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者は、所属学部長の承認を得て、志願することができる。

2 転学部または転学科は、志願先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可する。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第21条 第18条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位は、学部長が教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

2 前項により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第26条により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数と合わせて60単位を限度とする。

3 第19条および前条の規定により、入学または転学部、転学科を許可された者の本大学または他の大学もしくは短期大学等においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

#### 第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第22条 本大学の学部および学科の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

2 授業科目は、専門科目、基礎科目、教養科目およびキャリア形成科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に区分する。

3 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

4 第2項のほか、自由科目を置くものとし、各学部の履修規定に定める。

(副専攻)

第22条の2 特定の課題に関する科目で構成する教育課程(副専攻)を開設し、その学習成果を認定することができる。なお、副専攻の教育課程、履修方法および認定要件については、別に定める。

(単位の計算方法)

(授業の方法)

第22条の3 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、これにより修得する単位数は60単位を超えないものとする。

3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 第1項の授業の一部を、校舎および付属施設以外の場所で行うことができる。

第23条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習、実技を組み合わせる行う授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。

3 「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(単位の授与)

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習および実技については、試験によらないことがある。

(成績の評価基準等)

第25条 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

2 前項のほか、授業科目の成績については、各学部の履修規定に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

第26条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校(専攻科)における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 本大学の学部間または学科間の協議に基づき、学部長は、他の学部または他の学科の授業科目を履修させることができる。

4 前3項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修の方法および要件等)

第27条 履修の方法および要件等については、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第28条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第2のとおり定める。

3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2の2のとおりとする。

4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

## 第7章 卒業および学位

(卒業)

第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定め

る単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

理工学部 124単位以上

国際学部 124単位以上

経営学部 124単位以上

薬学部 187単位以上

法学部 124単位以上

経済学部 124単位以上

看護学部 127単位以上

農学部 124単位以上

現代社会学部 124単位以上

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
理工学部	生命科学科	学士(理学)
	住環境デザイン学科	
	建築学科	
	機械工学科	
	電気電子工学科	
	都市環境工学科	
国際学部	国際学科	学士(文学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
法学部	法律学科	学士(法学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
農学部	農業生産学科	学士(農学)
	応用生物科学科	
	食品栄養学科	
	食農ビジネス学科	
現代社会学部	現代社会学科	学士(社会学)

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

#### 第8章 休学、転学、留学、退学および除籍

(休学)

第31条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

2 休学は、所属学部長が許可する。

3 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期

間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

- 2 復学は、所属学部長が許可する。

(転学)

第34条 他の大学へ入学または転入学を志願しようとする者は、所属学部長に転学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

- 2 学部長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。
- 3 前項の許可を得て留学した期間は、第13条に定める在学期間に含めることができる。
- 4 第26条第4項にかかわらず、外国の大学へ留学する場合、卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、30単位を限度とする。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

- イ 学費を所定の期日までに納入しない者
- ロ 休学者または学生海外留学規定による留学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者
- ハ 第13条に定める在学年限を超えた者
- ニ 成業の見込みがないと認められる者
- ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者
- ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者
- ト 薬学部、看護学部の学生で、同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く2年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者
- チ 死亡が確認された者

## 第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に値する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、放学、停学、譴責および訓告とする。
- 3 前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。
  - イ 性行不良で改善の見込みがない者
  - ロ 正当な理由がなくて出席常でない者
  - ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。

#### 第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

第41条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。

2 休学中の学費は、休学開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。

3 学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の留学中の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。

4 その他休学中および留学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料および学費等)

第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

#### 第11章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者がいるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。

4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。

5 その他研究生については、研究生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者がいるときは、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学歴を有する者とする。

3 授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。

4 履修料の額は、別表第5のとおり定める。

5 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別聴講学生)

第46条 他の大学、短期大学または高等専門学校で、本大学において授業科目を履修することを志願する者がいるときは、当該他校との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

2 出願資格、履修料等その他必要な事項については、特別聴講学生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、外国人留学生としてこれを許可することができる。

2 外国人留学生は、留学目的により第1種外国人留学生、第2種外国人留学生および第3種外国人留学生とし、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生とは、大学の課程を修了して学士の学位を取得することを目的とし、1年次または相当年次に入学する者

ロ 第2種外国人留学生とは、特定の研究課題の研究を目的とする者

ハ 第3種外国人留学生とは、特定の授業科目を聴講することを目的とする者

3 外国人留学生の出願資格は、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生は、外国において学校教育における12年以上の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ロ 第2種外国人留学生は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

ハ 第3種外国人留学生は、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

4 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、帰国学生としてこれを許可することができる。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(外国人留学生および帰国学生に関する授業科目の開設)

第49条 外国人留学生および帰国学生に関しては、日本語および日本事情等の授業科目を開設することができる。

(その他)

第50条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生について必要な事項は、別に定める。

## 第12章 公開講座

(公開講座)

第51条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

## 第13章 付属施設

(図書館)

第52条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究に資する。

(情報メディアセンター)

第52条の2 本大学に、情報メディアセンターを設け、本大学の職員および学生の教育研究に資する。

(研究支援・社会連携センター)

第52条の3 本大学に、研究支援・社会連携センターを設け、本大学の産官学連携および地域連携の推進に資する。

(保健室)

第53条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(福利厚生施設)

第54条 本学園に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 その他

(学則の改廃)

第55条 本学則の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

付 則

- 1 本学則施行に必要な細則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 3 この改正学則は、昭和50年9月9日から施行する。ただし、別表第3は、昭和51年度入学生から適用する。
- 4 この改正学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 5 イ この改正学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、別表第3は、昭和54年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和53年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
  - ハ 改正後の第3条の規定にかかわらず、各学科の収容定員は、昭和54年度230名、昭和55年度260名、昭和56年度290名とする。
- 6 イ この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和55年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和54年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 7 イ この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和56年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和55年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 8 イ この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第41条第1項の改正後の別表第4は、昭和57年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和56年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 9 イ この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和58年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和58年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和57年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 10 イ この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和59年度入学生の入学手続時から適用する。
  - ロ 昭和58年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 11 イ この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和60年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和59年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。

12 イ この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和61年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和61年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和60年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。

ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名

13 イ この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和62年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和61年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は昭和63年度まで原則としてなお従前の例による。

14 イ この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和63年度入学生の入学手続時から適用する。

ロ 昭和62年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は、前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は、昭和63年度まで原則としてなお従前の例によるものとし、経営情報学部の昭和62年度以前の入学生の修得すべき授業科目および単位数については、前号を適用する。

ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和63年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	

土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名
法学部	
法律学科	170名

- 15 イ この改正学則は、1989年4月1日から施行する。ただし 改正後の第41条第1項および第2項の別表第4は、1989年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 1988年度以前の入学生の学費ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 16 イ この改正学則は、1990年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1990年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1990年度入学生の入学手続時から適用する。
- ハ 1989年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1989年度以前の入学生にかかる教職課程ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 17 イ この改正学則は、1991年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1991年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1991年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1990年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、1989年度以前の入学者の学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1990年度以前の入学者にかかる経営情報学部学生の修得すべき単位数については、なお従前の例による。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員
工学部	
土木工学科	110名

建築学科	110名
電気工学科	120名
機械工学科	120名
経営工学科	120名
計	580名
国際言語文化学部 国際言語文化学科	250名
経営情報学部 経営情報学科	200名
薬学部 衛生薬学科 薬学科 計	120名 60名 180名
法学部 法律学科	220名

- 18 イ この改正学則は、1992年4月1日から施行する。
- ロ 第29条および第30条は、1992年2月26日から適用する。
- ハ 第40条の別表第3は、1992年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1992年度入学者の入学手続時から適用する。
- ニ 1991年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額から消費税法第29条に定める消費税額を差し引いた額とし、消費税法の一部を改正する法律（平成3年5月15日法律第73号）の施行日から適用する。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1992年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1992年度	1993年度	1994年度	1995～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2220名	2270名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	900名	950名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	950名	1100名	1250名	1400名	1250名	1100名	950名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名

法学部							
法律学科	780名	830名	880名	880名	830名	780名	730名

- 19 イ この改正学則は、1993年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1993年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1992年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 1992年度以前の入学者にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1993年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1993年度	1994年度	1995年度	1996～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2270名	2320名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	950名	1000名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	1000名	1050名	1100名	1000名	900名	800名	700名
経営環境情報学科	150名	300名	450名	600名	550名	500名	450名
計	1150名	1350名	1550名	1600名	1450名	1300名	1150名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	830名	880名	880名	880名	830名	780名	730名

- 20 イ この改正学則は、1994年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1994年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1993年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 21 イ この改正学則は、1995年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1995年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1994年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 1992年度以前の入学者（工学部および国際言語文化学部にあつては1994年度以前の入学者）にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。ただし、1992年度以前の薬学部の入学者が「薬物治療学」を専門教育科目の選択科目として履修し、単位を修得することができるものとする。
- 22 イ この改正学則は、1996年4月1日から施行する。

- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1996年度入学者の入学手続時から適用する。
  - ハ 1995年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
  - ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
    - a 工学部の1994年度以前の入学者（電気工学科および経営工学科にあつては、1992年度以前の入学者）については、なお従前の例による。
    - b 国際言語文化学部の1994年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - c 経営情報学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - d 薬学部の1993年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - e 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 23 イ この改正学則は、1997年4月1日から施行する。
- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1997年度入学者の入学手続時から適用する。
  - ハ 1996年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
  - ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
    - a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - b 国際言語文化学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - c 薬学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、履修し、単位を修得できるものとする。
    - d 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 24 イ この改正学則は、1998年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
    - a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - b 国際言語文化学部、経営情報学部および法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
    - c 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「人文総合A」および「人文総合B」については、履修し、単位を修得できるものとする。なお、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 25 この改正学則は、1999年4月1日から施行する。
- 26 イ この改正学則は、2000年4月1日から施行する。
- ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
    - a 工学部の1999年度以前の入学者の卒業に必要な単位数および第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。ただし、土木工学科の卒業に必要な単位数のうち専門科目については、必修科目34単位、選択必修科目および選択科目のうちから46単位以上とする。
    - b 国際言語文化学部の1999年度以前の入学者については、なお従前の例による。
    - c 経営情報学部および薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
    - d 法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - ハ 第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部					
土木工学科	104名	98名	92名	86名	80名
建築学科	110名	110名	110名	110名	110名
電気工学科	112名	104名	96名	88名	80名
機械工学科	120名	120名	120名	120名	115名
経営工学科	112名	104名	96名	88名	80名
計	558名	536名	514名	492名	465名
国際言語文化学部					
国際言語文化学科	240名	230名	220名	210名	200名
経営情報学部					
経営情報学科	250名	250名	250名	250名	250名
経営環境情報学科	139名	128名	117名	106名	100名
計	389名	378名	367名	356名	350名
薬学部					
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名	180名
法学部					
法律学科	220名	220名	220名	220名	220名

27 イ この改正学則は、2001年4月1日から施行する。

ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。

a 経営情報学部の1997年度以前の入学者の卒業に必要な単位数のうち基礎科目については、必修科目2単位、選択必修科目8単位以上とする。また、2000年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2および同条第3項別表第2の2の適用は、なお従前の例による。

b 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。

ハ 第3条の規定にかかわらず、2001年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員			
	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部				
土木工学科	80名	80名	80名	80名
建築学科	110名	97名	80名	80名
電気工学科	80名	80名	80名	80名
機械工学科	110名	100名	80名	80名
経営工学科	80名	80名	80名	80名
計	460名	437名	400名	400名
国際言語文化学部				

国際言語文化学科	220名	200名	200名	200名
経営情報学部				
経営情報学科	230名	230名	230名	230名
経営環境情報学科	120名	120名	120名	120名
計	350名	350名	350名	350名
薬学部				
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名
法学部				
法律学科	220名	220名	214名	171名

- 28 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科は、2002年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「都市環境システム工学科」とあるのは「土木工学科」と、「電気電子工学科」とあるのは「電気工学科」と、「マネジメントシステム工学科」とあるのは「経営工学科」とそれぞれ読み替えるものとする。
- 29 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条別表第4は、2002年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2001年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部建築学科および機械工学科の1999年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ヘ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ト 第3条の規定にかかわらず、2002年度および2003年度の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	2002年度	2003年度
工学部		
都市環境システム工学科	80名	80名
建築学科	80名	80名
電気電子工学科	80名	80名
機械工学科	80名	80名
マネジメントシステム工学科	80名	80名
計	400名	400名
国際言語文化学部		
国際言語文化学科	180名	180名

経営情報学部		
経営情報学科	196名	193名
経営環境情報学科	90名	80名
計	286名	273名
薬学部		
衛生薬学科	120名	120名
薬学科	100名	100名
計	220名	220名
法学部		
法律学科	200名	170名

- 30 イ この改正学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第19条第3項は2003年度転入学者の出願手続時から適用する。
- ロ 2002年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専科目および単位数については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数については、なお従前の例による。
- 31 イ この改正学則は、2004年4月1日から施行する。
- ロ 2003年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 工学部都市環境システム工学科、国際言語文化学部および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部電気工学科、経営工学科、経営情報学部および薬学部の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。ただし、2001年度の薬学部の入学者は、「総合薬学演習」を履修し、単位を修得できるものとする。また、「卒業研究」を修得した場合の単位数は、必修科目の4単位とする。
- 32 イ この改正学則は、2005年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、国際言語文化学部国際言語文化学科は、2005年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「国際学部国際学科」とあるのは「国際言語文化学部国際言語文化学科」と、第41条第1項別表第4、同条第2項別表第7、第44条第4項別表第5および第45条第4項別表第6中「外国語学部」とあるのは「国際言語文化学部」とそれぞれ読み替えるものとする。
- ハ 2004年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 国際言語文化学部の2004年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 工学部都市環境システム工学科および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 33 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第4は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。

- ロ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営環境情報学科および薬学部衛生薬学科は、2006年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
  - ハ 2005年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
  - ニ 2005年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
  - ホ 経営情報学部経営情報学科および薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - ヘ 工学部電気工学科および経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 34 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第3は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
  - ハ 外国語学部、経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ニ 工学部各学科の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 35 この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- 36 イ この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- ロ 2006年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
  - ハ 経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ニ 外国語学部の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ホ 工学部各学科の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 37 この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- 38 イ この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- ロ 外国語学部の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
  - ハ 工学部各学科の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 39 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。
- ロ 工学部各学科の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 40 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
  - ハ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営学科および経営情報学科は、2010年3月31日に

当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。  
この場合において、第22条第3項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「経営学部経営学科」とあるのは「経営情報学部経営学科」、「経営学部経営情報学科」とあるのは「経営情報学部経営情報学科」と、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「経営学部」とあるのは「経営情報学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

ニ 工学部建築学科、機械工学科および電気電子工学科の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

41 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科、建築学科、電気電子工学科、機械工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例によるものとする。また、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「理工学部」とあるのは「工学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

42 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 2009年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

ハ 外国語学部、経営情報学部および法学部の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

43 イ この改正学則は、2011年4月1日から施行する。

ロ 2010年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

44 イ この改正学則は、2012年4月1日から施行する。

ロ 2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

45 イ この改正学則は、2013年4月1日から施行する。

ロ 2012年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

46 イ この改正学則は、2014年4月1日から施行する。

ロ 2013年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

47 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。

ロ 2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

48 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。

ロ 2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

49 この改正学則は、2016年10月18日から施行する。

50 イ この改正学則は、2017年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条および別表第3は、2017年度入学者の入学手続時から適用する。

ロ 2016年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

ハ 2016年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に

定める。

- 51 イ この改正学則は、2018年4月1日から施行する。  
ロ 2017年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 52 イ この改正学則は、2019年4月1日から施行する。  
ロ 2018年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ハ 2018年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 53 イ この改正学則は、2020年4月1日から施行する。  
ロ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2019年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ニ 2019年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 54 イ この改正学則は、2021年4月1日から施行する。  
ロ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2019年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ニ 2019年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。  
ホ 経済学部経済学科の改正後の別表第1（教育課程表）については、2020年度入学者から適用する。  
ヘ 農学部食品栄養学科の卒業に必要な単位数の変更については、2020年度入学者から適用する。
- 55 イ この改正学則は、2022年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第3は、2022年度入学者の入学手続時から適用する。  
ロ 2021年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2021年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ニ 2021年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 56 イ この改正学則は、2023年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3は、2023年度入学者の入学手続時から適用する。  
ロ 2022年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。  
ハ 2022年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。  
ニ 2022年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

別表第1 教育課程表

1 理工学部

イ 生命科学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門共通科目群	専門基礎系	生物学概論	②
			物理科学	②
			生物無機化学	②
			生物統計学	②
			生命科学・統計情報処理	②
			生命科学と倫理	②
			生物有機化学	②
		基礎生命系	生化学Ⅰ	②
			生化学Ⅱ	②
			微生物学	②
			生化学Ⅲ	②
			発生生物学	2
			ゲノムダイナミクス	2
		動植物生命系	動物生理学	②
			植物生理学	②
			実験動物学	2
			実験植物学	2
		生物機能情報系	構造生物学	②
			糖鎖工学	②
			タンパク機能学	2
			細胞機能学	2
			分子細胞制御学	2
		医薬生命系	幹細胞生物学	②
			免疫学	②
			薬理学	②
			人体と病態	2
			生化学検査学	2
			創薬科学	2
		生物工学系	応用微生物学	②
			遺伝子工学	②
			生体利用機能学	2
			バイオテクノロジー入門	2
		環境科学系	生命環境解析学	②
			環境毒性学	②
			環境分析化学	2
			バイオ環境工学	2

	食品科学系	食品分析学	②	
		食品生化学	2	
		機能性食品科学	2	
		実験演習系	物理学実験	①
			生物学基礎実習	①
			分析化学実習	①
			微生物学実習	①
			分子生物学実習	①
			生化学実習	①
			生命科学データベース論・演習	①
			生体物質機能解析実習	①
			薬理学実習	①
		ゼミ系	基礎演習 I	①
			基礎演習 II	①
			研究基礎演習	①
	卒業研究		⑥	
	総合研究コア群	生命科学特別演習 I	2	
		生命科学特別演習 II	2	
		生命科学キャリア支援講座	2	
		生命科学キャリア支援演習	2	
	先端研究コア群	先端生命科学実習 I	2	
		先端生命科学実習 II	2	
		先端生命科学概論	2	
		先端生命科学英語読解	2	
	教育スペシャリストコア群	理科教育法 I	2	
		理科教育法 II	2	
		理科教育法 III	2	
		理科教育法 IV	2	
		生命科学理科教育演習	2	
	教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2
			心理と社会	2
			実践の思想	2
			哲学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			人文地理学	2
社会科学系		日本の政治	2	
		法学入門	2	
		日本国憲法	2	
		経済学入門	2	

	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2

	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
	日本事情 R II	2
	日本語読解 R	1
	日本語文法 R	1
	日本語表現作文 R	1
	日本語総合 R	1
	専門日本語 R	1
	日本語会話 R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	—	32単位以上	96単位以上

教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	65単位	—	59単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 住環境デザイン学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分 I	4	
			微積分 II	4	
			線形代数 I	2	
			線形代数 II	2	
			工業数学 I	2	
			工業数学 II	2	
			代数学	2	
			幾何学 I	2	
			幾何学 II	2	
			解析学	2	
			統計学	2	
			科学系	物理学基礎演習	2
			物理学	2	
			基礎力学演習	①	
			力学	②	
			化学	2	
			生物学	2	
		実験系	理工学基礎実験	②	
			物理学実験	2	
			化学実験	2	
		情報系	統計情報処理	①	
		専門コア群	共通系	住環境倫理	②
				建築法規	②
				住環境デザイン概論	②
				デザイン方法論	②
				図形科学	②
				福祉住環境学	②
				コミュニティプランニング	②
				住環境マネジメント	②
				居住安全計画	②
				環境デザイン系	環境設備計画A
				住環境工学A	②
			住環境工学B	②	

		住環境設備	②
		環境設備計画B	2
		住環境材料学	②
		構造デザイン論	②
		ランドスケープデザイン論	2
		構造力学 I	②
		構造力学 II	②
		建築一般構造学	②
		住宅生産学	②
	空間デザイン系	住生活学	②
		建築計画学	2
		地域・都市計画学	2
		近代デザイン史	2
		日本建築史	2
		西洋建築史	2
		インテリアデザイン論	2
		建築デザイン論	2
	少人数教育群	演習系	
		空間表現演習A	2
		空間表現演習B	2
		造形演習	2
		基礎設計演習	②
		設計演習 I	②
		設計演習 II	②
		設計演習 III	3
		インテリアデザイン演習	2
		環境工学演習	2
		デザイン方法演習	3
		サステイナブルデザイン演習	3
		ゼミ系	
		ゼミA	①
		ゼミB	①
		ゼミC	①
		スタジオ	②
		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2

社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
	外国語系	海外語学研修
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1

	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	44単位	53単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	45単位	79単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 建築学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分Ⅰ	4	
			微積分Ⅱ	4	
			線形代数Ⅰ	2	
			線形代数Ⅱ	2	
			工業数学Ⅰ	2	
			工業数学Ⅱ	2	
			代数学	2	
			幾何学Ⅰ	2	
			幾何学Ⅱ	2	
			解析学	2	
			統計学	2	
			科学系	物理学Ⅰ	2
				物理学Ⅱ	2
			基礎力学演習	1	
			力学Ⅰ	2	
			力学Ⅱ	2	
		実験系	理工学基礎実験	②	
			物理学実験	2	
		情報系	情報メディアデザイン	2	
		専門コア群	共通系	図学	□2
				建築概論	②
				建築法規	②
				建築倫理	□2
				建築情報処理基礎	□2
				建築情報処理応用	□2
				測量	□2
			地球環境論	□2	
			建築総合演習	①	
			建築マネジメント	□2	

		まちづくり論	2	
		建築実務実践	2	
	計画・環境系	建築計画基礎	②	
		都市地域デザイン	②	
		西洋建築史	2	
		建築計画各論	②	
		福祉すまい環境	②	
		建築環境工学Ⅰ	②	
		建築環境工学Ⅱ	②	
		建築設備学	②	
		日本建築史	2	
		近代建築史	2	
		建築環境工学Ⅲ	2	
		材料デザイン	2	
		現代作品論	2	
		構造・生産系	構造力学・構造基礎	②
	構造力学Ⅰ		③	
	構造力学Ⅱ		③	
	建築材料		②	
	建築施工		②	
	鉄筋コンクリート構造		②	
	構造設計		2	
	鋼構造		②	
	構造力学Ⅲ		2	
	地盤工学		2	
	耐震工学・振動学		2	
少人数教育群	実験実習系	建築基礎演習A	②	
		建築基礎演習B	②	
		建築設計製図A	②	
		建築設計製図B	②	
		建築設計演習A	2	
		建築設計演習B	2	
		建築環境工学演習	2	
		構造実験	2	
	ゼミ系	建築ゼミⅠ	①	
		建築ゼミⅡ	①	
		建築ゼミⅢ	③	
		卒業研究	⑥	
	教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2

	心理と社会	2
	実践の思想	2
	哲学から学ぶ	2
	歴史に学ぶ	2
	人文地理学	2
社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1

数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
	日本事情 R II	2
	日本語読解 R	1
	日本語文法 R	1

	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	56単位	40単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	57単位	67単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 機械工学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	
		基礎数学演習	2
		微積分 I	4
		微積分 II	4
		線形代数 I	4
		線形代数 II	2
		工業数学 I	2
		工業数学 II	2
		統計学	2
		代数学	2
		幾何学 I	2
		幾何学 II	2
		解析学	2
		応用数学 I	2
	応用数学 II	2	
	科学系		
	基礎力学演習	1	
	力学 I	2	
	力学 II	2	
	物理学 I	2	
	物理学 II	2	
	実験系		
	理工学基礎実験	①	
	物理学実験	1	
	情報系		
	統計情報処理	1	
プログラミングベーシック	①		
プログラミングアドバンス	1		
専門コア群	共通系	機械工学概論	②

		機械力学Ⅰ	②
		機械力学Ⅱ	②
		制御工学Ⅰ	②
		制御工学Ⅱ	2
		流体工学Ⅰ	②
		流体工学Ⅱ	②
		材料力学Ⅰ	②
		材料力学Ⅱ	②
		熱工学Ⅰ	②
		熱工学Ⅱ	②
		機械製作法	②
		生産加工学	②
		生産工学	②
		機械設計学Ⅰ	②
		機械設計学Ⅱ	②
		機械材料学Ⅰ	②
		機械材料学Ⅱ	2
		技術者倫理	②
		機械工学演習Ⅰ	②
		機械工学演習Ⅱ	2
	発展系	エネルギー変換工学	2
		ライフサイクル工学	2
		流体力学	2
		振動工学	2
		弾性力学	2
		ロボット工学	2
		知能工学	2
		航空宇宙工学	2
		計測工学	2
		インダストリアルデザイン	2
		生体医用工学	2
		機械と色彩	2
		テクニカルドローイング	1
		ものづくりの工学	2
		デジタルエンジニアリング	2
		品質工学	2
少人数教育群	実験実習系	基礎機械工作実習	②
		応用機械工作実習	②
		機械工学実験	②
		機械製図Ⅰ	②

		機械製図Ⅱ	②
		基礎機械設計	②
		応用機械設計	2
	ゼミ系	機械創成基礎演習Ⅰ	①
		機械創成基礎演習Ⅱ	①
		機械創成応用演習	②
		研究基礎演習	①
		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
	自然・科学技術系	産業技術史	2
		地学	2
		地学実験	2
		科学技術教養V	2
		科学技術教養R	2
		科学技術教養A	2
		科学技術教養E	2
		科学技術教養C	2
		科学技術教養T	2
	英語系	基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰa	1
		実践英語Ⅰb	1
実践英語Ⅱa		1	

	実践英語Ⅱb	1
	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現Ⅰ	1
	コミュニケーションⅠ	1
	コミュニケーションⅡ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1

	帰国学生対象科目	日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
		日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	49単位	47単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	50単位	74単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ホ 電気電子工学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分 I	4
			微積分 II	4
			線形代数 I	2
			線形代数 II	2
			電気数学 I	2
			電気数学 II	2
			代数学	2
			幾何学 I	2
			幾何学 II	2
			解析学	2
			応用数学 I	2
			応用数学 II	2
		科学系	物理の基礎	3

専門コア群		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		理工学基礎実験	①
		物理学実験	2
	情報系	統計情報処理	1
		Cプログラミング	①
	共通系	電気情報工学概論	②
		フーリエ解析	2
		確率統計	2
		電磁気学Ⅰ	②
		電磁気学Ⅱ	2
		電磁界理論	2
		電気回路Ⅰ	②
		電気回路Ⅱ	2
		論理回路基礎	2
		電子回路基礎	2
		電気電子計測	2
		品質管理	2
		電気回路CAD	2
		技術者への道	2
		技術者倫理	2
		電気系	電気機器Ⅰ
	電気機器Ⅱ		2
	電気エネルギー工学		2
	電力工学		2
	電力伝送		2
	電気設備工学		2
	パワーエレクトロニクス		2
	電機設計製図		2
電気法規及び施設管理	2		
電気工学演習	1		
電子系	ロボット工学概論	2	
	電子材料	2	
	電子デバイス工学	2	
	論理回路	2	
	電子回路	2	
	IoTデバイス	2	
	制御システム	2	
通信系	情報理論	2	
	通信システム	2	

		光エレクトロニクス	2
		通信工学Ⅰ	2
		通信工学Ⅱ	2
		通信ネットワーク	2
		電波法規	2
	情報系	アドバンスプログラミング	1
		コンピュータシステムⅠ	2
		コンピュータシステムⅡ	2
		コンピュータ解析	2
		アルゴリズムとデータ構造	2
		グラフ理論	2
		人工知能	2
		IoTプロセッシング	2
		情報工学演習	1
		演習実習系	電気情報基礎実験
	電気系実験Ⅰ		2
	情報系実験Ⅰ		2
	電気情報創成演習		②
	電気系実験Ⅱ		3
	情報系実験Ⅱ		3
	ゼミ系	基礎ゼミナール	①
		卒業研究基礎	①
		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
		社会科学系	日本の政治
	法学入門	2	
	日本国憲法	2	
	経済学入門	2	
	企業経営	2	
	社会の仕組み	2	
	マーケティング	2	
	産業社会と知的財産	2	
	国際理解概論	2	
	自然・科学技術系	産業技術史	2

	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2

	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	20単位	76単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	21単位	103単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

～ 都市環境工学科

区分	授業科目	単位数
----	------	-----

専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分Ⅰ	4
			微積分Ⅱ	4
			線形代数Ⅰ	2
			線形代数Ⅱ	2
			工業数学Ⅰ	2
			工業数学Ⅱ	2
			代数学	2
			幾何学Ⅰ	2
			幾何学Ⅱ	2
		解析学	2	
		科学系	理工学基礎	①
			物理学	2
			化学	2
			生物学	2
			地質学	2
			基礎力学演習	1
			力学Ⅰ	2
			力学Ⅱ	2
		実験・演習系	理工学基礎実験	①
	物理学実験		①	
	情報系	統計情報処理	1	
	専門コア群	建設系	構造力学基礎・演習	③
			構造力学Ⅰ	2
			構造力学Ⅱ	2
			地盤力学Ⅰ・演習	③
			地盤力学Ⅱ	2
			建設構造材料学	2
			水理学Ⅰ・演習	③
			水理学Ⅱ	2
		環境計画系	自然・都市環境論	2
			地球環境学	2
			環境衛生工学Ⅰ	2
			環境衛生工学Ⅱ	2
			リサイクル工学	2
			計画システム	2
			都市計画学	2
			環境地盤工学	2
		専門応用系	鋼構造学	2
			コンクリート構造学	2

		建設施工学	2	
		交通・道路工学	2	
		流域・沿岸域工学	2	
		構造物メンテナンス	2	
		防災・耐震工学	2	
		空間情報学・演習	3	
		コンストラクションマネジメント入門	2	
		シビックデザイン	2	
	倫理法規系	技術者倫理	2	
		建設環境法規	2	
	建築系	建築・都市計画入門	2	
		建築設計製図基礎	1	
		建築設計製図Ⅰ	1	
		建築設計製図Ⅱ	1	
		建築設計製図Ⅲ	1	
	測量・実験系	測量学Ⅰ	②	
		測量学実習Ⅰ	①	
		測量学Ⅱ	②	
		測量学実習Ⅱ	①	
		建設工学実験	2	
		環境工学実験	2	
	専門情報系	CAD実習	①	
少人数教育群	専門演習系	構造力学Ⅰ演習	1	
		コンクリート構造学演習	1	
		地盤力学Ⅱ演習	1	
		水理学Ⅱ演習	1	
		計画システム演習	1	
	総合演習系	実践日本語演習	1	
		都市環境基礎演習	1	
		都市環境総合演習Ⅰ	1	
		都市環境総合演習Ⅱ	1	
		都市環境数理総合演習	1	
		都市建設設計製図	1	
		環境計画設計製図	1	
	ゼミ系	都市環境基礎ゼミⅠ	①	
		都市環境基礎ゼミⅡ	①	
		都市環境ゼミナール	①	
		卒業研究	⑥	
	教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2

	心理と社会	2
	実践の思想	2
	哲学から学ぶ	2
	歴史に学ぶ	2
	人文地理学	2
社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1

数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
	日本事情 R II	2
	日本語読解 R	1
	日本語文法 R	1

	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	28単位	69単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	29単位	95単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

2 国際学部

国際学科

区分			授業科目	単位数	
専門科目	協働学習プロジェクト科目	文化構想領域	プロジェクト科目	表象と感性プロジェクト	2
				歴史学プロジェクト	2
				地理学プロジェクト	2
				比較文化プロジェクト	2
				人間存在論プロジェクト	2
				都市と周縁プロジェクト	2
				国際社会と日本語プロジェクト	2
				基幹科目	表象文化論
				地域と歴史	2
				環境と社会	2
				思想と文化	2
				テクノロジーと人間	2
				異文化の理解	2
				多文化社会と日本語	2
			接続科目	英語圏異文化交流論	2
				英語圏比較文化論	2
				中国語と生活文化	2
				中国語圏の言語文化	2
				スペインの言語と文化	2
				ラテンアメリカの言語と文化	2
				インドネシア語と生活文化	2

		インドネシア語と現代文化	2
国際共生 領域	プロジェクト科目	地域研究プロジェクト（英語と諸地域）	2
		地域研究プロジェクト（東アジア世界）	2
		地域研究プロジェクト（スペイン語と諸地域）	2
		地域研究プロジェクト（東南アジア世界）	2
		海外特別プロジェクト I	2
	基幹科目	グローバルスタディーズ（英語と諸地域）	2
		グローバルスタディーズ（東アジア世界）	2
		グローバルスタディーズ（スペイン語と諸地域）	2
		グローバルスタディーズ（東南アジア世界）	2
	接続科目	英語で考える環境問題	2
		英語で考える社会問題	2
		中国語を通して見る世界	2
		中国語圏の地域と共生	2
		スペインから世界を見る	2
		ラテンアメリカから世界を見る	2
インドネシア語で世界を知る		2	
マレー語圏の地域を知る		2	
社会協創 領域	プロジェクト科目	言語コミュニケーションプロジェクト	2
		メディアと現代社会プロジェクト	2
		マイノリティ研究プロジェクト	2
		地域研究・国際政治プロジェクト	2
		地域とビジネスプロジェクト	2
		国際貢献・ボランティアプロジェクト	2
		海外特別プロジェクト II	2
	基幹科目	ことばと社会	2
		メディア文化論	2
		ジェンダーとマイノリティ	2
		比較政治学	2
		国際ビジネス論	2
		国際貢献論	2
	接続科目	Studies in Media and Communication	2
		Studies in Hospitality and Tourism	2
		中国語で読み解く地域社会	2
		中国語圏から社会を考える	2
		スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	2
		スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	2
インドネシア語で考える現代社会		2	
マレー語で考える国際社会		2	
実習・演習科目	課題解決型ワークショップ	2	

		ホスピタリティ実習演習	2		
		海外インターンシップ	2		
		海外実習	2		
		体験型特別実習	2		
文化社会科目	地域文化科目	世界を学ぶ	②		
		日本を学ぶ	②		
		エリアスタディーズ 北アメリカ	2		
		エリアスタディーズ ラテンアメリカ	2		
		エリアスタディーズ 東アジア	2		
		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	2		
		エリアスタディーズ 東南アジア	2		
		エリアスタディーズ アフリカ	2		
		エリアスタディーズ ヨーロッパ	2		
		エリアスタディーズ オセアニア	2		
		一般学芸科目		共同体論	2
				多文化共生論	2
風土と地理	2				
国際関係論	2				
国際社会と経済	2				
メディアリテラシー論	2				
現代社会論	2				
地域と観光	2				
生物と環境	2				
ナショナリズム論	2				
視覚文化論	2				
Studies in Popular Culture	2				
Studies in Language and Society	2				
言語学芸科目				音声学	2
		英語学概論	2		
		言語学	2		
		日本語史概説	2		
		英語意味論・語用論	2		
		日本語音韻論	2		
		英語構造論	2		
		日本語語彙論	2		
		日本語文法論	2		
		日本の文学	2		
		中国の文学	2		
		英語圏の文学	2		
エアライン・ホスピタリティ		ホテルビジネス論	2		

科目		ホスピタリティ基礎論	2
		ホスピタリティスキル論	2
		エアラインサービス論	2
		エアラインビジネス論	2
学芸員科目		ミュージアムへの招待	2
		ミュージアムコレクション論	2
		博物館資料保存論	2
		ディスプレイ論	2
		生涯学習論	2
		ミュージアムマネジメント論	2
		博物館情報・メディア論	2
		博物館教育論	2
		博物館実習	3
日本語教員科目		日本語教授法 I	2
		日本語教授法 II	2
		日本語教授法 III	2
		日本語教育実習演習	3
英語基礎科目		Speaking & Writing a	1
		Reading a	①
		TOEIC a	1
		Communicative English Grammar	1
		Speaking & Writing b	1
		Reading b	①
		TOEIC b	1
		Drama	1
		Japanese Society and Culture	①
		Academic Reading & Listening	1
		Academic Writing Workshop	1
		Debate	1
		Presentation	1
地域言語 科目	英語	Topic Studies I a	1
		Topic Studies I b	1
		Discussion a	1
		Topic Studies II a	1
		Discussion b	1
		Topic Studies II b	1
		Advanced Academic Writing Workshop a	2
		Lecture a	2
		Film Making	2
		Business English a	2

	Topic Studies IIIa	2
	Advanced Academic Writing Workshop b	2
	Lecture b	2
	Business English b	2
	Topic Studies IIIb	2
	Comprehensive Studies a	2
	Comprehensive Studies b	2
諸言語	諸言語輪講	①
中国語	中国語で読み解く I	1
	中国語で表現する I	1
	中国語で会話する I	1
	中国語で読み解く II	1
	中国語で表現する II	1
	中国語で会話する II	1
	中国語で読み解く III	1
	中国語で表現する III	1
	中国語で会話する III	1
	中国語プレゼンテーション	2
スペイン語	スペイン語文法 I	1
	スペイン語表現	1
	スペイン語会話 I	1
	スペイン語文法 II	1
	スペイン語読解	1
	スペイン語会話 II	1
	スペイン語圏社会講読 (南欧)	1
	スペイン語圏社会講読 (ラテンアメリカ)	1
	スペイン語文章構成	1
	スペイン語プレゼンテーション	2
インドネシア語・マレー語	インドネシア語文法	1
	インドネシア語表現 I	1
	インドネシア語会話 I	1
	総合インドネシア語	1
	インドネシア語表現 II	1
	インドネシア語会話 II	1
	総合マレー語	1
	実践インドネシア語	1
	旅行インドネシア語	1
	インドネシア語・マレー語プレゼンテーション	2
ゼミ・卒業研究	初年次ゼミナール	②
	基礎ゼミナール	②

	基礎演習 I	②
	基礎演習 II	②
	文化演習 I	②
	文化演習 II	②
	卒業研究 I	②
	卒業研究 II	②

教養科目	人文科学系	人間の探求	2
		文学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		心理学	2
	社会科学系	法学入門	2
		世界の政治	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		経営学入門	2
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
		食品機能学	2
		人体の構造と機能	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	英語系	基礎英語 I a	①
		基礎英語 II a	①
	外国語系	韓国語 I	1
		韓国語 II a	1
		韓国語 II b	1
		韓国語 III a	1
		韓国語 III b	1
	日本語系	日本語表現 I	1
		日本語表現 II	1
		コミュニケーション I	1
	数理・情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
キャリアデザイン II		①	
エンプロイメントデザイン I		1	

	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
	時事問題Ⅰ	2
	時事問題Ⅱ	2
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1

	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ①協働学習プロジェクト科目26 単位以上 (文化構想領域、国際共生領 域、社会協創領域において選択 したプロジェクト科目1科目と対 応する基幹科目1科目、および接 続科目2科目の合計4科目8単位 以上、実習演習科目2単位以上) ②文化社会科目3単位以上 (中国語、スペイン語、インド ネシア語・マレー語のうち、い ずれかの言語から3単位)	29単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科 目および言語学芸科目から22 単位以上 ②地域言語科目から7単位以上 (ただし、「English Language Honors Track」は 地域文化科目、一般学芸科目 および言語学芸科目から16単 位以上、英語基礎科目から6単 位以上、地域言語科目のうち 英語科目から7単位以上)	92単位以上
		10単位以上		
教養科目	6単位	—	26単位以上 (人文科学系、社会科学系、 自然・科学技術系、地域志向 系、教養特別系から16単位以 上 外国語系、日本語系、キャリ アデザイン系、スポーツ系、 共通基礎系から10単位以上)	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

3 経営学部  
経営学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	②
		経営管理論	2
		地域産業論	2
		ビジネス情報処理 I	②
		ビジネス情報処理 II	②
		ICTビジネス入門	②
		情報倫理	2
		情報と職業	2
		マーケティング入門	2
		消費者心理学	2
		簿記入門	④
		財務諸表論入門	2
		経済学入門	2
		ミクロ経済学	2
		マクロ経済学	2
		経営統計学	2
		市場調査入門	2
	マネジメントサイエンス	2	
	マネジメント群	経営組織論	2
		経営戦略論	2
		人的資源管理論	2
		組織行動論	2
		中小企業論	2
		現代企業論	2
		イノベーション論	2
		日本経営史	2
		外国経営史	2
		国際経営論 I	2
		国際経営論 II	2
	ICTビジネス群	情報科学	2
		プログラミング I	2
		プログラミング II	2
		経営情報システム I	2
		経営情報システム II	2
		情報ネットワークとセキュリティ	2
		コンピュータデータ分析	2
		コンピュータサイエンス	2

	プロダクトデザイン I	2
	プロダクトデザイン II	2
	ビジネスシミュレーション	2
	流通情報システム	2
マーケティング群	消費者行動論	2
	マーケティング戦略論	2
	メディアと社会	2
	メディア戦略論	2
	ブランド論	2
	リテールマーケティング	2
	サービスマーケティング	2
	データサイエンス I	2
	データサイエンス II	2
	マーケティングリサーチ I	2
	マーケティングリサーチ II	2
会計ファイナンス群	商業簿記	2
	工業簿記	2
	財務会計論 I	2
	財務会計論 II	2
	連結会計論	2
	管理会計論 I	2
	管理会計論 II	2
	会計情報分析論	2
	ファイナンス I	2
	ファイナンス II	2
	コーポレート・ファイナンス I	2
	コーポレート・ファイナンス II	2
応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2
	ビジネスプランニング	2
	知的財産管理論	2
	企業分析(経営戦略ケース分析)	2
	ICTビジネス演習A	2
	ICTビジネス演習B	2
	ICTビジネス演習C	2
	マーケティングリサーチ演習A	2
	マーケティングリサーチ演習B	2
	マーケティング演習A	2
	マーケティング演習B	2
	調査実践演習 I	2
	調査実践演習 II	2

		中小企業会計論	2
		企業分析(財務戦略ケース分析)	2
		経営学特講Ⅰ	2
		経営学特講Ⅱ	2
		経営学特講Ⅲ	2
	法律科目群	民法	2
		会社法	2
		労働法	2
		金融商品取引法	2
	演習・卒業研究	基礎演習	②
		専門基礎演習	②
		専門演習Ⅰ	④
		専門演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
教養科目	人文科学系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		倫理学	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
	社会科学系	社会学Ⅰ	2
		社会学Ⅱ	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
		産業技術史	2
		科学技術教養	2
	英語系外国語	基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1

	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	ビジネスイングリッシュ I	1
	ビジネスイングリッシュ II	1
	英語コミュニケーション I	1
	英語コミュニケーション II	1
	アドバンスト英語 I	1
	アドバンスト英語 II	1
	アドバンスト英語 III	1
外国語系	海外語学研修	2
	ビジネス中国語基礎a	1
	ビジネス中国語基礎b	1
	ビジネス中国語基礎c	1
	ビジネス中国語基礎d	1
	中国語を聞くa	1
	中国語を聞くb	1
	中国語を話すa	1
中国語を話すb	1	
日本語系	日本語表現 I	1
	日本語表現 II	1
	コミュニケーション I	1
数理・情報系	数学基礎 I	1
	数学基礎 II	1
	情報技術演習	1
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	1
	キャリアデザイン III	1
	エンプロイメントデザイン I	1
	エンプロイメントデザイン II	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
	職業能力開発	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2

		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクト I	2
		摂南大学PBLプロジェクト II	2
		地域貢献実践演習	2
	共通基礎系	大学教養入門	2
		大学教養実践	2
		数的能力開発 I	1
		就職実践基礎	1
	教養特別系	教養特別講義 I	2
		教養特別講義 II	2
		教養特別講義 III	2
		教養特別講義 IV	2
		教養特別講義 V	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
		日本事情 F II	2
		日本語読解 F I	1
		日本語読解 F II	1
		日本語文法 F I	1
		日本語文法 F II	1
		日本語表現作文 F I	1
		日本語表現作文 F II	1
		日本語総合 F I	1
		日本語総合 F II	1
		専門日本語 F I	1
		専門日本語 F II	1
		日本語会話 F I	1
		日本語会話 F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
		日本事情 R II	2
		日本語読解 R	1
		日本語文法 R	1
		日本語表現作文 R	1
		日本語総合 R	1
		専門日本語 R	1
		日本語会話 R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目		計
専門科目	28単位	マネジメント コース	58単位以上（マネジメント群 12単位以上、ICTビジネス	86単位以上

			群2単位以上、マーケティング群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上)	
			ICTビジネスコース	58単位以上 (ICTビジネス群12単位以上、マネジメント群2単位以上、マーケティング群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上)
			マーケティングコース	58単位以上 (マーケティング群12単位以上、マネジメント群2単位以上、ICTビジネス群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上)
			会計ファイナンスコース	58単位以上 (会計ファイナンス群12単位以上、マネジメント群2単位以上、ICTビジネス群2単位以上、マーケティング群2単位以上)
教養科目	英語系外国語、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	—	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む英語系外国語または外国語系科目8単位以上を含む)	38単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	—	—	20単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各2単位以上を含む)
	キャリアデザイン系	1単位	—	2単位以上
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	—	—	3単位以上
計		29単位	95単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

#### 4 薬学部 薬学科

区分		授業科目		単位数
専門科目	基礎	薬剤師になるために	必	1.5
		化学	選必	1
		物理学	選必	1

	生物学	選必	1
物理・化学系	有機化学 I	選必	1
	有機化学 II	選必	1
	物理化学 I	選必	1
	物理化学 II	選必	1
	薬品分析学	選必	1
	臨床分析学	選必	1
	機器分析学 I	選必	1
	機器分析学 II	選必	1
	生薬学	選必	1
	天然物化学	選必	1
	医薬品化学 I	選必	1
	医薬品化学 II	選必	1
生物系	生化学 I	選必	1
	生化学 II	選必	1
	生理解剖学 I	選必	1
	生理解剖学 II	選必	1
	生体情報伝達学	選必	1
	微生物学	選必	1
	免疫学	選必	1
	分子細胞生物学 I	選必	1
	分子細胞生物学 II	選必	1
	細胞生物学	選必	1
衛生系	環境衛生学	選必	1
	公衆衛生学	選必	1
	毒性学	選必	1
	食品衛生学	選必	1
	保健衛生学	選必	1
医療系	薬理学 I	選必	1
	薬理学 II	選必	1
	化学療法論	選必	1
	精神神経疾患治療学	選必	1
	循環器疾患治療学	選必	1
	消化器・血液疾患治療学	選必	1
	感染症治療学	選必	1
	内分泌・代謝性疾患治療学	選必	1
	免疫疾患治療学	選必	1
	腎・生殖器疾患治療学	選必	1
	悪性腫瘍治療学・緩和医療	選必	1
	病態生化学	選必	1

		病態生理学	選必	1
		物理薬剤学	選必	1
		生物薬剤学	選必	1
		薬物動態学	選必	1
		統計学	選必	1
		臨床薬物動態学	選必	1
		製剤学	選必	1
		漢方処方学	選必	1
		臨床栄養学	選必	1
		放射線生物学	選必	1
		社会薬学	選必	1
		医薬品情報学	選必	1
		薬事関連法規	選必	1
		セルフメディケーション論	選必	1
		症候学	選必	1
		医薬品開発論	選必	1
	実習・演習	早期体験学習	必	3
		基盤実習	必	3
		化学系薬学実習	必	3
		生物・衛生系薬学実習	必	3
		医療系薬学実習	必	3
		プレファーマシー実習	必	4
		フィジカルアセスメント実習	必	1
		薬学臨床実習	必	20
		基盤演習Ⅰ(物理・化学計算)	必	1.5
		基盤演習Ⅱ(生物学)	必	1.5
		基盤演習Ⅲ(化学)	必	1.5
		物理・化学系薬学演習	必	2
		生物・薬理系薬学演習	必	2
		衛生・医療系薬学演習	必	2
		実践薬学	必	5
		DI演習	必	1.5
		薬学臨床実習事後演習	必	2
		総合薬学演習	必	5
		薬学研究Ⅰ	必	4
		薬学研究Ⅱ	必	5
基礎科目	外国語	文章表現法	選	1.5
		英語Ⅰa	選	1.5
		英語Ⅰb	選	1.5
		英語ⅠC	選	1.5

		英語 I d	選	1.5
		英語 II a	選	1.5
		英語 II b	選	1.5
		薬学英语	必	1.5
		医療英会話	必	1.5
		海外語学研修	選	2
体育		スポーツ科学	選	1.5
外国人留学生対象科目		日本事情F I	選	2
		日本事情F II	選	2
		日本語読解F I	選	1
		日本語読解F II	選	1
		日本語文法F I	選	1
		日本語文法F II	選	1
		日本語表現作文F I	選	1
		日本語表現作文F II	選	1
		日本語総合F I	選	1
		日本語総合F II	選	1
		専門日本語F I	選	1
		専門日本語F II	選	1
		日本語会話F I	選	1
		日本語会話F II	選	1
帰国学生対象科目		日本事情R I	選	2
		日本事情R II	選	2
		日本語読解R	選	1
		日本語文法R	選	1
		日本語表現作文R	選	1
		日本語総合R	選	1
		専門日本語R	選	1
		日本語会話R	選	1
教養科目	人文系	コミュニケーション論	選	1.5
		心理学	選	1.5
		哲学	選	1.5
		文学	選	1.5
		臨床心理学	必	1.5
		発達心理学	必	1.5
		社会系	ボランティア活動論	選
	日本国憲法		選	1.5
	法学入門		選	1.5
	経済学		選	1.5
	女性学		選	1.5

	教育学	選	1.5
	観光学	選	1.5
自然系	生命倫理学	必	1.5
	数学	必	1.5
	論理学	選	1.5
地域志向系	地域と私	選	2
	北河内を知る	選	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	選	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	選	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	選	2
	地域貢献実践演習	選	2
教養特別	教養特別講義 I	選	2
	教養特別講義 II	選	2
	教養特別講義 III	選	2
	教養特別講義 IV	選	2
	教養特別講義 V	選	2
キャリア形成科目	スタートアップゼミ	必	1
	キャリア形成 I	必	2
	キャリア形成 II	選必	2
	キャリア形成 III	選必	2
	キャリア形成 IV	必	2
	患者安全	必	2
	患者コミュニケーション	必	2
	カルテ読解演習	必	3
	セルフメディケーション演習	必	1.5
	クリニカルパス演習	必	1.5
	グローバルコミュニケーション(中国語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(韓国語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(スペイン語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(インドネシア語)	選必	1.5
	天然薬用資源学	選	1.5
	薬事・衛生行政	選	1.5
	医療経済学	選	1.5
	応用薬学実習	選	1.5
	医薬品開発演習	選	1.5
	薬局経営	選	1.5
アドバンスト臨床薬学	選	1.5	

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	計
----	---

専門科目	必修科目	74.5単位	129.5単位以上
	選択必修科目	55単位以上	
基礎科目	必修科目	3単位	13.5単位以上
	選択科目	10.5単位以上	
教養科目	必修科目	6単位	18単位以上
	選択科目	12単位以上	
キャリア形成科目	必修科目	15単位	26単位以上
	選択必修科目	5単位以上	
	選択科目	6単位以上	
計			187単位以上

- 2 「必」の授業科目は必修科目、「選必」の授業科目は選択必修科目、「選」の授業科目は選択科目を示す。
- 3 専門科目の「総合薬学演習」には、最終試験を含む。

## 5 法学部

## 法律学科

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法学 特修	企業 法務	地域 政策	スポーツ 法政策
専門科目	基礎法学	法学概論	2	○	○	○	○
		法哲学総論	2	□	□	□	□
		法哲学各論	2	□	□	□	□
		法思想史	2	□			□
		法社会学	2	□		□	
		近世日本の法文化	2	□			
		日本の人権の歴史	2	□		□	□
		家族と地域の法社会史	2			□	□
		日本女性史	2		□	□	
		祭りと地域の法社会史	2			□	
		西洋の人権の歴史	2	□		□	□
		西洋の裁判の歴史	2	□			
		西洋女性史	2			□	
		英米法	2		□		
	憲法・行政法	憲法概論	2	□	□	□	□
		憲法Ⅰ(基本的人権)	2	□	□		
		憲法Ⅱ(統治機構)	2	□	□		
		行政法総論	2	□	□	□	□
		行政法各論	2	□	□	□	□
		地方自治法	2	□	□	□	□
		租税法Ⅰ	2	□	□	□	
		租税法Ⅱ	2	□	□	□	
	刑事法	刑事法概論	2	□	□	□	□
		刑法総論	2	□	□	□	□
		刑法各論	2	□	□	□	□
		経済刑法	2	□	□		
		刑事政策	2	□		□	□
		現代社会と刑事法	2	□		□	□
		刑事訴訟法	2	□	□	□	
	民事法	民事法概論	2	□	□	□	□
		民法総則	2	□	□	□	□
		法人法概説	2	□	□	□	
		物権法	2	□	□		
		不動産取引法	2	□	□		
		債権総論	2	□	□	□	

	債権各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	不法行為法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	親族法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	相続法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	消費者と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際私法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	国際私法各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	民事訴訟法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	倒産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事保全・執行法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
商事法・経済法	商法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	会社法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	有価証券法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	独占禁止法	2		<input type="checkbox"/>		
	金融商品取引法	2		<input type="checkbox"/>		
	保険法	2		<input type="checkbox"/>		
	知的財産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	国際取引法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
社会法	労働保護法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	労働組合法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	社会保障法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	環境法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
国際法	国際社会と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際法の基礎理論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際人権法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際組織法	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治学・国際政治	政治学概論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	世界の政治と社会	2			<input type="checkbox"/>	
	近代日本政治史	2			<input type="checkbox"/>	
	日本外交史	2			<input type="checkbox"/>	
	西洋政治思想史	2			<input type="checkbox"/>	
	国際関係史	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際関係論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	グローバル社会論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	日本政治論	2			<input type="checkbox"/>	
	市民社会論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治過程論	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
行政学・政策学・政策実務	公共政策の基礎	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	行政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治と政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	地方自治論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域防犯政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	住民協働論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	福祉政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際ボランティア論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	金融論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	財政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	地方財政論	2			<input type="checkbox"/>	
	法情報学	2				
	裁判制度特別講義	2				
	地域調査入門	2			<input type="checkbox"/>	
言語	法学部生のための日本語	2				<input type="checkbox"/>
	法律英語	2	<input type="checkbox"/>			
スポーツ法政策	スポーツと法律	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツ文化論	2				<input type="checkbox"/>
	地域とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツマネジメント	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	グローバル社会とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法律学特修特別講義	実定法特別講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
	実定法特別講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
	実定法上級講義	2	<input type="checkbox"/>			
	憲法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	行政法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	民法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	商法応用講義	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	刑法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
	刑法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
	刑事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
企業法務特別講義	企業法務特別講義Ⅰ(金融法実務)	2		<input type="checkbox"/>		
	企業法務特別講義Ⅱ(貿易実務)	2		<input type="checkbox"/>		
	企業法務特別講義Ⅲ(不動産取引実務)	2		<input type="checkbox"/>		
地域政策特別講義	ボランティアと法律	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策応用講義Ⅰ(警察行政)	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策応用講義Ⅱ(地方政策論)	2			<input type="checkbox"/>	
	地域政策応用講義Ⅲ(地方財政論)	2			<input type="checkbox"/>	
スポーツ法政策特別講義	スポーツ政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツビジネスと法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィットネストレーニングの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

		ヘルスエクササイズの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		スポーツ医学の理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		体力測定とスポーツ相談	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外国人留学生対象科目		日本の法事情F I	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F II	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F III	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F IV	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F V	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		日本の法事情F VI	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
専門キャリア特別講義		法政キャリア特別講義 I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		法政キャリア特別講義 II	2				
		法政キャリア特別講義 III	2				
		法政キャリア特別講義 IV	2				
		法政キャリア特別講義 V	2				
		法政キャリア特別講義 VI	2				
		法政キャリア特別講義 VII	2				
演習・卒業研究		法学基礎演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		法学基礎演習 II	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		プレ専門演習	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		専門演習 II	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		卒業研究	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2				
		心理学 I	2				
		心理学 II	2				
		哲学 I	2				
		哲学 II	2				
		日本の歴史	2				
		世界の歴史	2				
		人文地理学	2				
		地誌学	2				
		国語学	2				
	社会科学系	経済学入門	2				
		教養経済学	2				
		経営学入門	2				
		会計学	2				
		社会学 I	2				
		社会学 II	2				
		社会調査の方法	2				
	自然・科学技術	教養数学	2				

系	教養物理	2
	教養化学	2
	教養生物	2
	自然地理学	2
英語系	基礎英語 I a	①
	基礎英語 I b	①
	基礎英語 II a	①
	基礎英語 II b	①
	実践英語 I b	1
	実践英語 II b	1
	英会話 I	1
	英会話 II	1
	時事英語 I	1
	時事英語 II	1
	外国語系	海外語学研修
教養中国語 I		1
教養中国語 II		1
日本語系	日本語表現 I	1
	日本語表現 II	1
	コミュニケーション I	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
	情報リテラシー II	1
	応用情報処理	2
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	①
	キャリアデザイン III	1
	エンプロイメントデザイン I	1
	エンプロイメントデザイン II	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学概論	2
	スポーツ科学実習 I a	1
	スポーツ科学実習 I b	1
	スポーツ科学実習 II a	1
	スポーツ科学実習 II b	
	◎スポーツ指導者入門	2
	◎スポーツトレーニングの基礎	2
	◎発育発達論	2
	◎スポーツ心理学	2
	◎スポーツ栄養学	2

	◎スポーツ医学の基礎	2
	◎スポーツの歴史	2
	◎スポーツ教育学	2
	◎スポーツプログラミング	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発 I	Ⅱ
	数的能力開発 II	Ⅱ
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1
	専門日本語F II	1
	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1
	日本語会話F III	1
	日本語会話F IV	1
	日本語会話F V	1
	日本語会話F VI	1
	日本語会話F VII	1
	日本語会話F VIII	1

帰国学生対象科目	日本事情R I	2
	日本事情R II	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		法学特修 コース	企業法務 コース	地域政策 コース	スポーツ法 政策コース
専門科目	必修科目	18単位			
	選択必修科目	44単位以上	40単位以上	40単位以上	38単位以上
	選択科目	24単位以上	28単位以上	28単位以上	30単位以上
	合計	86単位以上			
教養科目	必修科目	7単位			
	選択必修科目	英語系、スポーツ系または数理・情報系	2単位以上		
		日本語系、キャリアデザイン系または共通基礎系	3単位以上		
	選択科目	人文科学系	6単位以上		
		社会科学系	6単位以上		
		自然・科学技術系	6単位以上		
		スポーツ系(科目名称の前に◎を付した科目)	ただし自然・科学技術系2単位以上を含む		
	小計(上記4系統を含む)	26単位以上			
	合計	38単位以上			
	総計	124単位以上			

- 2 専門科目のコース別履修区分の表示において、○は必修科目、□は選択必修科目、その他は選択科目を示す。また、教養科目の単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。
- 3 各コースの所定単位数を超えて修得した専門科目の選択必修科目の単位数は、専門科目の選択科目の単位数として算入する。
- 4 教養科目の選択必修科目の修得単位数のうち、英語系または数理・情報系の所定の単位数を超えて修得した単位数は、選択科目(人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、スポーツ系を除く)の修得単位数として算入することができる。

6 経済学部  
経済学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	基礎科目群	経済学入門(エコノミックリテラシー)	②
		地域経済入門	②
		観光学入門	②
		国際経済学入門	②
		会計学入門	2
		日本経済史	2
		日本経済論	2
		経営学	2
		経済地理	2
		ミクロ経済学Ⅰ	②
		ミクロ経済学Ⅱ	2
		マクロ経済学Ⅰ	②
		マクロ経済学Ⅱ	2
		社会経済学Ⅰ	②
		社会経済学Ⅱ	2
		統計学	②
		統計学演習	2
		経済データサイエンス入門	2
		労働経済学	2
		経済思想史	2
		世界経済史	2
		簿記原理Ⅰ	2
		簿記原理Ⅱ	2
		財政学	2
		金融論	2
		ゲーム理論	2
		計量経済学	2
		管理会計	2
		地域経済群	◎公共政策論
	◎関西経済論		2
	◎地方財政論		2
	地域金融論		2
	文化政策論		2
地方自治論	2		
地域保健医療	2		
日本産業史	2		
中小企業論	2		

	地域経済実践演習	2
観光経済群	◇観光経済論	2
	◇観光人材論	2
	◇観光マーケティング論	2
	観光産業政策論	2
	観光資源論	2
	観光ビジネス英語	2
	航空産業論	2
	レジャー産業論	2
	宿泊産業論	2
	観光経済実践演習	2
国際経済群	△貿易論	2
	△国際投資論	2
	△開発経済学	2
	国際協力論	2
	国際経済の新動向	2
	地域統合論	2
	農業・資源経済学	2
	国際金融論	2
	グローバルマーケティング	2
	国際経済実践演習	2
アドバンスト科目群	摂南経済ゲストレクチャー	2
	地球環境経済	2
	産業組織論	2
	ファイナンシャル・プランニング	2
	現代ファイナンス論	2
	交通経済論	2
	サービス産業論	2
	公共経済学	2
	公益会計論	2
	社会保障論	2
	世界観光事情	2
	民法	2
	商法	2
	会社法	2
	行政法	2
	労働法	2
	経済学特別講義Ⅰ	2
経済学特別講義Ⅱ	2	
経済学特別講義Ⅲ	2	

	演習・卒業研究	基礎演習	④
		専門演習Ⅰ	④
		専門演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
教養科目	人文科学系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
	社会科学系	社会学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
	自然・科学技術系	自然地理学	2
		教養生物	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	英語系	基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅱa	1
		実践英語Ⅰa	1
		実践英語Ⅱa	1
		ビジネスイングリッシュⅠ	1
		ビジネスイングリッシュⅡ	1
		英語基礎会話Ⅰ	①
		英語基礎会話Ⅱ	①
	外国語系	海外語学研修	2
	日本語系	日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
	数理・情報系	数学基礎Ⅰ	1
		数学基礎Ⅱ	1
		情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	①
キャリアデザインⅡ		1	
キャリアデザインⅢ		1	
エンプロイメントデザインⅠ		1	

	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1

	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目		38単位	8単位以上	40単位以上	86単位以上
教養科目	英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	4単位	—	8単位以上	12単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系	—	—	22単位以上	22単位以上
	キャリアデザイン系、共通基礎系	1単位	—	3単位以上	4単位以上
計		43単位	8単位以上	73単位以上	124単位以上

- 2 専門科目のうち、授業科目の前に◎を付した科目は「地域経済コース」を選択した者の必修科目、◇を付した科目は「観光経済コース」を選択した者の必修科目、△を付した科目は「国際経済コース」を選択した者の必修科目とする。
- 3 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

7 看護学部  
看護学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎	人体の構造と機能Ⅰ	①
		人体の構造と機能Ⅱ	①
		人体の構造と機能Ⅲ	①
		代謝栄養学	①
		病理学総論	①
		感染と防御	①
		薬理学総論	①
		薬物治療学	①
		病院薬学演習	①
		カウンセリング論	2
		疾病・治療論Ⅰ	①
		疾病・治療論Ⅱ	①
		疾病・治療論Ⅲ	①
		疾病・治療論Ⅳ	①
		疾病・治療論Ⅴ	①
		疾病・治療論Ⅵ	①
		疫学	①
		保健医療福祉行政論	②
		公衆衛生学	①
		家族看護学	①
		医療経済論	2
	看護関係法規	①	
	社会福祉論	1	
	基礎看護学	看護学概論	②
		看護対人関係論	①
		基礎看護技術Ⅰ	②
		基礎看護技術Ⅱ	②
		フィジカルアセスメント	①
		看護過程論	①
		看護管理学	①
		基礎看護学実習Ⅰ	①
	基礎看護学実習Ⅱ	②	
	成人看護学	成人看護学概論	②
成人看護学援助論Ⅰ(急性)		①	
成人看護学援助論Ⅰ(慢性)		①	
成人看護学援助論Ⅱ(急性)		①	
成人看護学援助論Ⅱ(慢性)		①	

	成人看護学実習(急性)	③
	成人看護学実習(慢性)	③
老年看護学	老年看護学概論	①
	老年看護学援助論 I	①
	老年看護学援助論 II	①
	老年看護学実習 I	①
	老年看護学実習 II	①
	老年看護学実習 III	②
小児看護学	小児看護学概論	①
	小児看護学援助論 I	①
	小児看護学援助論 II	①
	小児看護学実習	②
母性看護学	母性看護学概論	①
	母性看護学援助論 I	①
	母性看護学援助論 II	①
	母性看護学実習	②
精神看護学	精神看護学概論	①
	精神看護学援助論 I	①
	精神看護学援助論 II	①
	精神看護学実習	②
在宅看護学	在宅看護学概論	①
	在宅看護学援助論 I	②
	在宅看護学援助論 II	①
	在宅看護学実習	②
看護の統合と	公衆衛生看護学概論	②
	看護倫理	①
	看護教育学	1
	国際看護学	1
	海外医療セミナー	1
	災害看護論	1
	看護の探求	1
	看護研究 I	②
	看護研究 II	②
	総合看護学演習	①
	統合看護学実習	②
公衆衛生看護学(保健師課程)	学校保健	1
	産業保健	1
	保健統計学	1
	公衆衛生看護学活動論 I	2
	公衆衛生看護学活動論 II	2

		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	1
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	3
	助産学((助産師課程)	周産期医学	1
		助産学概論	2
		助産診断・技術学Ⅰ	2
		助産診断・技術学Ⅱ	2
		助産診断・技術学Ⅲ	2
		助産技術学演習Ⅰ	1
		助産技術学演習Ⅱ	1
		助産管理論	1
		助産学実習	11
教養科目	人文科学系	倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		生命倫理	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		心理学	2
		文化人類学	2
		教育学	2
	社会科学系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		女性学	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然・科学技術系	生物・化学の基礎	2
		教養数学	2
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	英語系	英語Ⅰ	①
		英語Ⅱ	①
		英語Ⅲ	①
		英語Ⅳ	1
		英語Ⅴ	1

外国語系	中国語	1
	韓国語	1
日本語系	日本語表現法	①
数理・情報系	情報リテラシー I	①
	情報リテラシー II	1
	統計の基礎	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン	①
	キャリア入門	①
	患者安全	①
	患者コミュニケーション	①
	臨床医療演習	1
	先端医療演習	1
	地域医療実践演習	1
スポーツ系	スポーツ科学 I	①
	スポーツ科学 II	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通 基礎系	大学教養入門	②
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1

		日本語会話F II	1
帰国学生対象		日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	84単位	7単位以上 (専門基礎から3単位以上を含む)	91単位以上
教養科目	13単位	23単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系から、各系2単位以上を含む16単位以上。英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系から3単位以上。キャリアデザイン系から2単位以上を含む。)	36単位以上
計	97単位	30単位以上	127単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

## 8 農学部

## イ 農業生産学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	化学	2
			化学演習	1
			生物学	2
			生物学演習	1
			物理学	2
			生物統計学	2
		農業植物・栽培系	植物遺伝学	2
			作物機能形態学	2
			植物生理学	2
			植物育種学	②
			作物学	②
			野菜花卉園芸学	②
			植物育種方法論	2
			資源作物学	2
			果樹園芸学	2
			耕地生態学	2
			施設園芸学	2
		農業生物・環境系	植物病理学	②
			応用昆虫学	②
			土壌学	②
			植物感染機構学	2
			昆虫生理生態学	2
			植物無機栄養学	2
			多様性生物学	2
			土壌微生物学	2
			植物病害管理学	2
害虫防除論			2	
雑草管理学			2	
実験・実習系		化学実験	②	
		生物学実験	②	

		物理学実験	2
		農場実習	1
		農業生産学基礎実験Ⅰ	②
		農業生産学基礎実験Ⅱ	②
		農業生産学専門実験	②
		農業生産学実習Ⅰ	②
		農業生産学実習Ⅱ	②
専門総合群	応用生物系	分子からみた植物の働き	2
		ゲノムと生命	2
		生物の多様性と進化	2
		動物とくらし	2
		微生物とくらし	2
		海洋生物とくらし	2
	食品栄養系	食品学入門	2
		食品の安全性	2
		旬の食材と薬膳	2
		栄養とスポーツ	2
		栄養と健康	2
		病気の予防と食生活	2
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
		食と農の経済を学ぶ	2
		食と農の共生を考える	2
		フードシステムを学ぶ	2
		農業の多様性を学ぶ	2
		食と農の歴史を学ぶ	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
		農業生産学研究	①
		卒業研究	⑥
教養科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰ	1
		実践英語Ⅱ	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1

	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシー I	①
	情報リテラシー II	1
体育系	スポーツ科学 I	1
	スポーツ科学 II	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1

		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	37単位	61単位以上 ①専門コア群30単位以上(基礎系6単位以上、農業植物・栽培系および農業生物・環境系から24単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	43単位	81単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 応用生物科学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	化学	2
			化学演習	1
			生物学	2
			生物学演習	1
			物理学	2

		生物統計学	2
	植物系	バイオテクノロジー	②
		生物系統学	2
		ゲノム分子生物学	②
		植物遺伝子工学	②
		ゲノム機能学	2
		植物分子生理学	2
		細胞生物学	②
	微生物系	生化学	②
		応用微生物学	②
		生態学	②
		微生物工学	2
		共生ウイルス学	②
		植物共生微生物学	2
	動物・海洋生物系	産業動物学	②
		動物機能科学	②
		生体防御学	2
		生物情報学	2
		バイオインフォマティクス演習	2
		海洋動物学	②
		海洋生物機能学	2
		海洋生物化学	2
		水圏生物利用学	2
		応用藻類学	2
	実験・実習系	化学実験	②
		生物学実験	②
		物理学実験	2
		応用生物科学基礎実験Ⅰ	②
		応用生物科学基礎実験Ⅱ	②
		応用生物科学専門実験Ⅰ	②
		応用生物科学専門実験Ⅱ	②
専門総合群	農業生産系	園芸の技術	2
		植物の病気	2
		植物の改良	2
		昆虫とくらし	2
		作物とエネルギー生産	2
		生きている土壌	2
	食品栄養系	食品学入門	2
		食品の安全性	2
		旬の食材と薬膳	2

		栄養とスポーツ	2
		栄養と健康	2
		病気の予防と食生活	2
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
		食と農の経済を学ぶ	2
		食と農の共生を考える	2
		フードシステムを学ぶ	2
		農業の多様性を学ぶ	2
		食と農の歴史を学ぶ	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
		応用生物科学研究	①
		卒業研究	⑥
教養科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
	情報系	情報リテラシー I	①
		情報リテラシー II	1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2
	社会系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2

		法学入門	2
		経営学入門	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
	自然系	教養数学	2
		生命倫理	②
		生物と環境	2
		地学	2
		地学実験	2
	キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	1
		数的能力開発	1
		インターンシップ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
		日本事情FⅡ	2
		日本語読解FⅠ	1
		日本語読解FⅡ	1
		日本語文法FⅠ	1
		日本語文法FⅡ	1
		日本語表現作文FⅠ	1
		日本語表現作文FⅡ	1
		日本語総合FⅠ	1
		日本語総合FⅡ	1
		専門日本語FⅠ	1
		専門日本語FⅡ	1
		日本語会話FⅠ	1
		日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	45単位	53単位以上 ①専門コア群22単位以上(基礎系6単位以上、植	98単位以上

		物系、微生物系および動物・海洋生物系から16単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	51単位	73単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

#### ハ 食品栄養学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	生物学	②
			生物学演習	1
			化学	②
			化学演習	1
		社会・環境と健康	公衆衛生学	②
			健康管理概論	②
			医療福祉論	2
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	②
			臨床医学概論	2
			生化学	②
			微生物学	②
			分子生物学	2
			臨床病態学	2
			運動生理学	②
			薬理学	2
			解剖生理学実習	①
			生化学実験	①
			微生物学実験	1
		食べ物と健康	食品学総論	②
			食品学各論	②
			食品衛生学	②

	食品加工学	2
	調理学	②
	食品学実験Ⅰ	①
	食品学実験Ⅱ	①
	食品衛生学実験	①
	食品加工学実習	1
	調理学実習Ⅰ	①
	調理学実習Ⅱ	①
	調理学実習Ⅲ	1
基礎栄養学	基礎栄養学	②
	基礎栄養学実習	①
応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	②
	応用栄養学Ⅱ	②
	応用栄養学Ⅲ	2
	応用栄養学実習	①
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	②
	栄養教育論Ⅱ	②
	栄養教育論Ⅲ	2
	栄養教育論実習	①
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	②
	臨床栄養学Ⅱ	2
	臨床栄養学Ⅲ	2
	臨床栄養学Ⅳ	2
	栄養薬理学	2
	臨床栄養学実習Ⅰ	①
	臨床栄養学実習Ⅱ	1
	臨床栄養学実習Ⅲ	1
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	②
	公衆栄養学Ⅱ	2
	公衆栄養学実習	①
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	②
	給食経営管理論Ⅱ	2
	給食経営管理実習	①
総合演習	臨地実習指導(演習)	1
	管理栄養士総合演習	1
臨地実習	給食運営実習(校外)	①
	臨地実習Ⅰ(給食経営管理論)	1
	臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)	1
	臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	2
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)	3

	専門総合群	農業生産系	園芸の技術	2
			植物の病気	2
			植物の改良	2
			昆虫とくらし	2
			作物とエネルギー生産	2
			生きている土壌	2
		応用生物系	分子からみた植物の働き	2
			ゲノムと生命	2
			生物の多様性と進化	2
			動物とくらし	2
			微生物とくらし	2
			海洋生物とくらし	2
		食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
			食と農の経済を学ぶ	2
			食と農の共生を考える	2
			フードシステムを学ぶ	2
			農業の多様性を学ぶ	2
			食と農の歴史を学ぶ	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①	
		食品栄養学研究	1	
		卒業研究	⑥	
教養科目	共通系	大学教養入門	②	
	語学系	日本語表現法	1	
		基礎英語 I a	1	
		基礎英語 I b	1	
		基礎英語 II a	1	
		基礎英語 II b	1	
		実践英語 I	1	
		実践英語 II	1	
		英語基礎会話a	1	
		英語基礎会話b	1	
		中国語 I	1	
		中国語 II	1	
		海外語学研修	2	
	情報系	情報リテラシー I	①	
		情報リテラシー II	1	
	体育系	スポーツ科学 I	1	
		スポーツ科学 II	1	
	人文系	心理学	2	
		倫理学	2	

	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
	臨床医療演習	1
	臨床医療実践演習	1
	セルフメディケーション演習	1
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2

	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	34単位以上 ①専門コア群16単位以上 ②専門総合群12単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	70単位	54単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 食農ビジネス学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	食農ビジネス学概論	②
			食と農の倫理	②
			基礎経済学	②
			アグロ・エコロジー論	②
			基礎統計学	②
			食と農の近現代史	②
			ミクロ経済学	②
		マクロ経済学	②	
		農業簿記・会計学	2	
		社会調査論	2	
		食農ビジネス最前線	2	

専門総合群	農業経済・経営・政策系	農業経営学	②
		食料・農業経済学	2
		食料・農業・農村政策論	2
		農業経営管理論	2
		農村社会学	2
		6次産業経営論	2
		地域マネジメント論	2
		食農ビジネス実践論	◇
		食品産業・流通系	フードシステム論
	食品産業論		2
	食料・農業市場論		2
	農畜産物流通論		2
	水産物流通論		2
	農水産物マーケティング論		2
	食品表示・認証論		2
	女性起業論		2
	食品産業経営戦略論		◇
	食農共生・循環型農業系		食農共生論
		循環型農業論	2
		食農教育論	3
		協同組合論	2
		都市農業論	2
		非営利協同論	2
		有機農業論	◇
		農村コミュニティビジネス論	◇
	国際農業系	比較農業論	②
		国際農業論	2
		農業開発論	2
		現代韓国農業論	2
		現代中国農業論	2
	農業生産系	園芸の技術	2
		植物の病気	2
		植物の改良	2
昆虫とくらし		2	
作物とエネルギー生産		2	
生きている土壌		2	
応用生物学		分子からみた植物の働き	2
		ゲノムと生命	2
		生物の多様化と進化	2
		動物とくらし	2

		微生物とくらし	2
		海洋生物とくらし	2
	食品栄養系	食品学入門	2
		食品の安全性	2
		旬の食材と薬膳	2
		栄養とスポーツ	2
		栄養と健康	2
		病気の予防と食生活	2
		ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール
	食農ビジネス学基礎演習Ⅰ		②
	食農ビジネス学基礎演習Ⅱ		②
	食農ビジネス学基礎演習Ⅲ		②
	食農ビジネス学研究Ⅰ		②
	食農ビジネス学研究Ⅱ		②
	卒業研究		⑥
教養科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰ	1
		実践英語Ⅱ	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語Ⅰ	1
		中国語Ⅱ	1
		海外語学研修	2
		情報系	情報リテラシーⅠ
	情報リテラシーⅡ		1
	体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
		スポーツ科学Ⅱ	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		文化人類学	2
		女性学	2

社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1
	専門日本語F II	1
	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I
日本事情R II		2
日本語読解R		1
日本語文法R		1
日本語表現作文R		1
日本語総合R		1
専門日本語R		1
日本語会話R		1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	56単位以上 ①専門コア群26単位以上(選択必修科目Aから2単位、選択必修科目B科目から10単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	48単位	76単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、◇で囲んだ授業科目は選択必修科目A、□で囲んだ授業科目は選択必修科目B、他は選択科目を示す。

9 現代社会学部  
現代社会学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	基礎科目	現代社会学入門	②
		現代社会の諸問題	②
		社会学説史	2
		社会心理学	2
		環境社会学	2
		都市計画論	2
		メディア社会学	2
		文化社会学	2
		日本社会変動史	2
		自我と関係の社会学	2
		スポーツ社会学	2
		地域福祉論	2
		地域社会学	2
		産業労働社会学	2
		情報社会論	2
		福祉社会学	2
		ジェンダー論	2
		家族社会学	2
		社会運動・ボランティア論	2
		子どもと教育の社会学	2
		国際社会学	2
臨床心理学	2		
地域スポーツ論	2		
社会調査士関連科目	社会調査入門	②	
	社会調査法	②	
	基礎統計学	②	
	社会統計学	2	
	多変量解析法	2	
	質的調査法	2	
	社会調査実習Ⅰ（量的）	2	
	社会調査実習Ⅰ（質的）	2	
	社会調査実習Ⅱ（量的）	2	
	社会調査実習Ⅱ（質的）	2	
FAL科目	FAL入門	②	
	FAL実践	2	
	FAL演習Ⅰ	2	
	FAL演習Ⅱ	2	

		FAL演習Ⅲ	2
		FAL演習Ⅳ	2
展開科目		社会構造変動史	②
		日常生活世界論	②
	ソーシャルイノベーション科目群	地域社会形成論	2
		人間環境の社会学	2
		階層構造変動史	2
		自然と科学の社会学	2
		エスニシティ論	2
		教育の歴史社会学	2
		政治文化の社会学	2
		SDGsと国際社会	2
		ライフデザイン科目群	生涯スポーツ論
	思春期・若者論		2
	犯罪・非行の社会学		2
	仕事とくらしの社会学		2
	ジェロントロジー		2
	都市住宅論		2
	観光地域福祉論		2
	ヘルスプロモーション論		2
	メディアコミュニケーション科目群	ビデオ・エスノグラフィー	2
		司法・犯罪心理学	2
		地域メディア論	2
		差別の社会学	2
		身体とコミュニケーション	2
		広報メディア論	2
		映画を読み解く社会学	2
		ジャーナリズム論	2
	演習・卒業研究	初年次ゼミ	②
初年次演習		②	
基礎演習Ⅰ		②	
基礎演習Ⅱ		②	
専門演習Ⅰ		②	
専門演習Ⅱ		②	
卒業研究Ⅰ		③	
卒業研究Ⅱ		③	
教養科目	人文科学系	日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2

	哲学Ⅰ	2
	哲学Ⅱ	2
	人文地理学	2
	地誌学	2
	文学から学ぶ	2
社会科学系	法学入門	2
	日本国憲法	2
	日本の政治	2
	経済学入門	2
	世界の政治	2
	経営学入門	2
自然・科学技術系	公衆衛生学	2
	自然地理学	2
	科学技術教養	2
英語系	基礎英語Ⅰa	①
	基礎英語Ⅱa	1
	実践英語Ⅰa	1
	実践英語Ⅱa	1
	時事英語Ⅰ	1
	時事英語Ⅱ	1
	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語基礎	①
	日本語表現	1
数理・情報系	数学基礎	①
	データサイエンス基礎	①
	情報リテラシー	1
キャリアデザイン系	キャリア基礎	①
	キャリアデザイン	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
共通基礎系	大学教養入門	②
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2

		日本語読解F I	1
		日本語読解F II	1
		日本語文法F I	1
		日本語文法F II	1
		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	34単位	52単位以上 (基礎科目から16単位以上、FAL科目から2単位以上、展開科目から18単位以上(各科目群から2単位以上を含む)を含む)	86単位以上
教養科目	7単位	31単位以上	38単位以上
計	41単位	83単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

授業科目	単位数
職業指導	4
職業指導 I	2
職業指導 II	2
理科教育法 I	2
理科教育法 II	2
理科教育法 III	2
理科教育法 IV	2
工業科教育法 I	2
工業科教育法 II	2
数学科教育法 I	2
数学科教育法 II	2
数学科教育法 III	2
数学科教育法 IV	2
英語科教育法 I	2
英語科教育法 II	2
英語科教育法 III	2
英語科教育法 IV	2
商業科教育法	4
情報科教育法	4
社会科教育法 I (地歴分野)	2
社会科教育法 II (地歴分野)	2
社会科教育法 III (公民分野)	2
社会科教育法 IV (公民分野)	2
農業科教育法 I	2
農業科教育法 II	2
学校栄養指導論 I	2
学校栄養指導論 II	2
教育原理	2
教師論	2
教育経営論	2
教育社会学	2
教育心理学	2
特別支援教育論	2
教育課程論	2
道德教育論	2
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2
教育方法論	2
教育における情報通信技術の活用	1

生徒指導論(進路指導を含む)	2
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2
教育実習Ⅰ	1
教育実習Ⅱ	2
教育実習Ⅲ	4
栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(中・高)	2
教職実践演習(栄養教諭)	2
地域連携教育活動Ⅰ	2
地域連携教育活動Ⅱ	2

別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科

1 中学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
社会	法学部法律学科 経済学部経済学科 現代社会学部現代社会学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
英語	国際学部国際学科

2 高等学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
公民	法学部法律学科 経済学部経済学科 現代社会学部現代社会学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科

理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
情報	経営学部経営学科
工業	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
商業	経営学部経営学科
農業	農学部農業生産学科
英語	国際学部国際学科

### 3 栄養教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
栄養教諭	農学部食品栄養学科

### 別表第3

#### 学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部		科目・年次	金額				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
理工学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,290,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
国際学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経営学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
薬学部	入学金	450,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
法学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経済学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—

	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
看護学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料						
	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費						
	農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	
現代社会 学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	945,000	945,000	945,000	945,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—

2 履修に特別の経費を要する場合は、これを当該課程の履修者から徴収することがある。その場合の金額および納期は、別に定める。

3 学費の額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

別表第4  
研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	410,000	年額
国際学部	310,000	〃
経営学部	315,000	〃
薬学部	660,000	〃
法学部	315,000	〃
経済学部	315,000	〃
看護学部	550,000	〃
農学部	410,000	〃
現代社会学部	315,000	〃

## 別表第5

## 履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1単位あたり
国際学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	
現代社会学部	15,000	

## 別表第6

## 在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
国際学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		
現代社会学部		

## 2. 変更事項を記載した書類

### I 変更の事由

現代社会学部現代社会学科設置に伴い、関連事項を改める。

### II 主な変更点

- (1) 各条文に現代社会学部を追加する。
- (2) 付則に第 56 項を追加し、改正学則の「施行年月日」を加える。
- (3) 別表第 1 (教育課程表) に、9.現代社会学部現代社会学科を追加する。
- (4) 別表第 2 (教職課程の設置により開設する授業科目および単位数) に「教育における情報通信技術の活用 (単位数 1)」を追加する。
- (5) 別表第 2 の 2 (教育職員免許状の種類および免許教科) の 1 「中学校教諭一種免許状」の「社会」に、現代社会学部現代社会学科を追加する。
- (6) 別表第 2 の 2 (教育職員免許状の種類および免許教科) の 2 「高等学校教諭一種免許状」の「公民」に、現代社会学部現代社会学科を追加する。
- (7) 別表第 3 (学費) に、現代社会学部を追加する。
- (8) 別表第 4 (研究料) に、現代社会学部を追加する。
- (9) 別表第 5 (履修料) に、現代社会学部を追加する。
- (10) 別表第 6 (在籍料) に、現代社会学部を追加する。

### 3. 変更部分の新旧対照表

変更後	変更前																				
<p>○摂南大学学則</p> <p>第1条 現行どおり</p> <p>(学部、学科および教育研究上の目的)</p> <p>第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。</p> <table border="1" data-bbox="163 651 730 986"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農学部</td> <td>農業生産学科</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> </tr> <tr> <td>食品栄養学科</td> </tr> <tr> <td>食農ビジネス学科</td> </tr> <tr> <td>現代社会学部</td> <td>現代社会学科</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～17 現行どおり</p> <p>18 <u>現代社会学部現代社会学科は、社会学を基礎とした幅広い見識を有し、社会学的想像力と実践力を身につけた、現代社会が抱える諸課題の解決に貢献できる知的専門職業人を養成することを目的とする。</u></p> <p>第2条の2 現行どおり</p>	学部	学科	現行どおり		農学部	農業生産学科	応用生物科学科	食品栄養学科	食農ビジネス学科	現代社会学部	現代社会学科	<p>○摂南大学学則</p> <p>第1条 省略</p> <p>(学部、学科および教育研究上の目的)</p> <p>第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。</p> <table border="1" data-bbox="1122 651 1688 938"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農学部</td> <td>農業生産学科</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> </tr> <tr> <td>食品栄養学科</td> </tr> <tr> <td>食農ビジネス学科</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～17 省略</p> <p>第2条の2 省略</p>	学部	学科	省略		農学部	農業生産学科	応用生物科学科	食品栄養学科	食農ビジネス学科
学部	学科																				
現行どおり																					
農学部	農業生産学科																				
	応用生物科学科																				
	食品栄養学科																				
	食農ビジネス学科																				
現代社会学部	現代社会学科																				
学部	学科																				
省略																					
農学部	農業生産学科																				
	応用生物科学科																				
	食品栄養学科																				
	食農ビジネス学科																				

変更後					変更前				
(収容定員)					(収容定員)				
第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。					第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。				
学部	学科	入学定員	3年次編入 学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	3年次編入 学定員	収容定員
現行どおり					省略				
農学部	農業生産学科	80名	—	320名	農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名		応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名		食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名		食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名		計	340名	—	1,360名
現代社会学部	現代社会学科	250名	—	1,000名					
第4条～第11条 現行どおり					第4条～第11条 省略				
(修業年限)					(修業年限)				
第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。					第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。				
理工学部 4年					理工学部 4年				
国際学部 4年					国際学部 4年				
経営学部 4年					経営学部 4年				
薬学部 6年					薬学部 6年				
法学部 4年					法学部 4年				
経済学部 4年					経済学部 4年				

変更後	変更前
<p>看護学部 4年 農学部 4年 <u>現代社会学部 4年</u> (在学年限)</p> <p>第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。</p> <p>理工学部 8年 国際学部 8年 経営学部 8年 薬学部 12年 法学部 8年 経済学部 8年 看護学部 8年 農学部 8年 <u>現代社会学部 8年</u></p> <p>2 現行どおり</p> <p>第14条～第28条 現行どおり</p> <p>(卒業)</p> <p>第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。</p>	<p>看護学部 4年 農学部 4年 (在学年限)</p> <p>第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。</p> <p>理工学部 8年 国際学部 8年 経営学部 8年 薬学部 12年 法学部 8年 経済学部 8年 看護学部 8年 農学部 8年</p> <p>2 省略</p> <p>第14条～第28条 省略</p> <p>(卒業)</p> <p>第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。</p>

変更後	変更前																											
<p>理工学部 124単位以上            国際学部 124単位以上            経営学部 124単位以上            薬学部 187単位以上            法学部 124単位以上            経済学部 124単位以上            看護学部 128単位以上            農学部 124単位以上  <u>現代社会学部 124単位以上</u></p> <p>2 現行どおり</p> <p>(学位の授与)</p> <p>第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。</p> <table border="1" data-bbox="163 971 869 1321"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>学位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農学部</td> <td>農業生産学科</td> <td rowspan="4">学士(農学)</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> </tr> <tr> <td>食品栄養学科</td> </tr> <tr> <td>食農ビジネス学科</td> </tr> <tr> <td><u>現代社会学部</u></td> <td><u>現代社会学科</u></td> <td><u>学士(社会学)</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 現行どおり</p>	学部	学科	学位	現行どおり			農学部	農業生産学科	学士(農学)	応用生物科学科	食品栄養学科	食農ビジネス学科	<u>現代社会学部</u>	<u>現代社会学科</u>	<u>学士(社会学)</u>	<p>理工学部 124単位以上            国際学部 124単位以上            経営学部 124単位以上            薬学部 187単位以上            法学部 124単位以上            経済学部 124単位以上            看護学部 128単位以上            農学部 124単位以上</p> <p>2 省略</p> <p>(学位の授与)</p> <p>第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。</p> <table border="1" data-bbox="1124 971 1807 1273"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科</th> <th>学位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">省略</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">農学部</td> <td>農業生産学科</td> <td rowspan="4">学士(農学)</td> </tr> <tr> <td>応用生物科学科</td> </tr> <tr> <td>食品栄養学科</td> </tr> <tr> <td>食農ビジネス学科</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 省略</p>	学部	学科	学位	省略			農学部	農業生産学科	学士(農学)	応用生物科学科	食品栄養学科	食農ビジネス学科
学部	学科	学位																										
現行どおり																												
農学部	農業生産学科	学士(農学)																										
	応用生物科学科																											
	食品栄養学科																											
	食農ビジネス学科																											
<u>現代社会学部</u>	<u>現代社会学科</u>	<u>学士(社会学)</u>																										
学部	学科	学位																										
省略																												
農学部	農業生産学科	学士(農学)																										
	応用生物科学科																											
	食品栄養学科																											
	食農ビジネス学科																											

変更後

変更前

第31条～第55条 現行どおり

第31条～第55条 省略

付 則

付 則

1～55 現行どおり

1～55 省略

56

イ この改正学則は、2023年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表第3は、2023年度入学者の入学手続時から適用する。

ロ 2022年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

ハ 2022年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

ニ 2022年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

変更後

変更前

別表第1 教育課程表

1～8 現行どおり

9 現代社会学部

現代社会学科

別表第1 教育課程表

1～8 省略

区分		授業科目	単位数
専 門 科 目	基礎科目	現代社会学入門	②
		現代社会の諸問題	②
		社会学説史	2
		社会心理学	2
		環境社会学	2
		都市計画論	2
		メディア社会学	2
		文化社会学	2
		日本社会変動史	2
		自我と関係の社会学	2
		スポーツ社会学	2
		地域福祉論	2
		地域社会学	2
		産業労働社会学	2
		情報社会論	2
		福祉社会学	2
		ジェンダー論	2
家族社会学	2		
社会運動・ボランティア論	2		

変更後			変更前
	子どもと教育の社会学	2	
	国際社会学	2	
	臨床心理学	2	
	地域スポーツ論	2	
社会調査士関連科目	社会調査入門	②	
	社会調査法	②	
	基礎統計学	②	
	社会統計学	2	
	多変量解析法	2	
	質的調査法	2	
	社会調査実習Ⅰ（量的）	2	
	社会調査実習Ⅰ（質的）	2	
	社会調査実習Ⅱ（量的）	2	
	社会調査実習Ⅱ（質的）	2	
FAL科目	FAL入門	②	
	FAL実践	2	
	FAL演習Ⅰ	2	
	FAL演習Ⅱ	2	
	FAL演習Ⅲ	2	
	FAL演習Ⅳ	2	
展開科目	社会構造変動史	②	
	日常生活世界論	②	
	ソーシャルイ地域社会形成論	2	
	ノベーション人間環境の社会学	2	

変更後				変更前			
	科目群	階層構造変動史	2				
		自然と科学の社会学	2				
		エスニシティ論	2				
		教育の歴史社会学	2				
		政治文化の社会学	2				
		SDGsと国際社会	2				
	ライフデザイン	生涯スポーツ論	2				
	ン科目群	思春期・若者論	2				
		犯罪・非行の社会学	2				
		仕事とくらしの社会学	2				
		ジェロントロジー	2				
		都市住宅論	2				
		観光地域福祉論	2				
		ヘルスプロモーション論	2				
	メディアコミ	ビデオ・エスノグラフィー	2				
	ュニケーショ	司法・犯罪心理学	2				
	ン科目群	地域メディア論	2				
		差別の社会学	2				
		身体とコミュニケーション	2				
		広報メディア論	2				
		映画を読み解く社会学	2				
		ジャーナリズム論	2				
	演習・卒業研究	初年次ゼミ	②				
初年次演習		②					

変更後				変更前			
教 養 科 目		<u>基礎演習Ⅰ</u>	<u>②</u>				
		<u>基礎演習Ⅱ</u>	<u>②</u>				
		<u>専門演習Ⅰ</u>	<u>②</u>				
		<u>専門演習Ⅱ</u>	<u>②</u>				
		<u>卒業研究Ⅰ</u>	<u>③</u>				
		<u>卒業研究Ⅱ</u>	<u>③</u>				
	人文科学系	<u>日本の歴史</u>	<u>2</u>				
		<u>世界の歴史</u>	<u>2</u>				
		<u>心理学Ⅰ</u>	<u>2</u>				
		<u>心理学Ⅱ</u>	<u>2</u>				
		<u>哲学Ⅰ</u>	<u>2</u>				
		<u>哲学Ⅱ</u>	<u>2</u>				
		<u>人文地理学</u>	<u>2</u>				
		<u>地誌学</u>	<u>2</u>				
		<u>文学から学ぶ</u>	<u>2</u>				
	社会科学系	<u>法学入門</u>	<u>2</u>				
		<u>日本国憲法</u>	<u>2</u>				
		<u>日本の政治</u>	<u>2</u>				
		<u>経済学入門</u>	<u>2</u>				
		<u>世界の政治</u>	<u>2</u>				
		<u>経営学入門</u>	<u>2</u>				
自然・科学技術系	<u>公衆衛生学</u>	<u>2</u>					
	<u>自然地理学</u>	<u>2</u>					
	<u>科学技術教養</u>	<u>2</u>					

変更後			変更前
英語系	基礎英語 I a	①	
	基礎英語 II a	1	
	実践英語 I a	1	
	実践英語 II a	1	
	時事英語 I	1	
	時事英語 II	1	
	英語基礎会話 I	1	
	英語基礎会話 II	1	
外国語系	海外語学研修	2	
日本語系	日本語基礎	①	
	日本語表現	1	
数理・情報系	数学基礎	①	
	データサイエンス基礎	①	
	情報リテラシー	1	
キャリアデザイン系	キャリア基礎	①	
	キャリアデザイン	1	
	インターンシップ	2	
	ビジネス実務	2	
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1	
	スポーツ科学実習 II	1	
共通基礎系	大学教養入門	②	
	大学教養実践	2	
	数的能力開発 I	1	
	就職実践基礎	1	

変更後			変更前
外国人留学生対象科目	<u>日本事情F I</u>	2	
	<u>日本事情F II</u>	2	
	<u>日本語読解F I</u>	1	
	<u>日本語読解F II</u>	1	
	<u>日本語文法F I</u>	1	
	<u>日本語文法F II</u>	1	
	<u>日本語表現作文F I</u>	1	
	<u>日本語表現作文F II</u>	1	
	<u>日本語総合F I</u>	1	
	<u>日本語総合F II</u>	1	
	<u>専門日本語F I</u>	1	
	<u>専門日本語F II</u>	1	
	<u>日本語会話F I</u>	1	
	<u>日本語会話F II</u>	1	
帰国学生対象科目	<u>日本事情R I</u>	2	
	<u>日本事情R II</u>	2	
	<u>日本語読解R</u>	1	
	<u>日本語文法R</u>	1	
	<u>日本語表現作文R</u>	1	
	<u>日本語総合R</u>	1	
	<u>専門日本語R</u>	1	
	<u>日本語会話R</u>	1	
備考			
1 卒業に必要な単位数			

変更後				変更前	
<u>区分</u>	<u>必修科目</u>	<u>選択科目</u>	<u>計</u>		
専門科目	34単位	52単位以上 (基礎科目から16単位以上、FAL科目から2単位以上、展開科目から18単位以上(各科目群から2単位以上を含む)を含む)	86単位以上		
教養科目	7単位	31単位以上	38単位以上		
計	41単位	83単位以上	124単位以上		
<p>2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。</p>					
別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数				別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数	
授業科目		単位数	授業科目		単位数
職業指導		4	職業指導		4
職業指導 I		2	職業指導 I		2
職業指導 II		2	職業指導 II		2
理科教育法 I		2	理科教育法 I		2
理科教育法 II		2	理科教育法 II		2
理科教育法 III		2	理科教育法 III		2
理科教育法 IV		2	理科教育法 IV		2
工業科教育法 I		2	工業科教育法 I		2
工業科教育法 II		2	工業科教育法 II		2
数学科教育法 I		2	数学科教育法 I		2
数学科教育法 II		2	数学科教育法 II		2

変更後		変更前	
数学科教育法Ⅲ	2	数学科教育法Ⅲ	2
数学科教育法Ⅳ	2	数学科教育法Ⅳ	2
英語科教育法Ⅰ	2	英語科教育法Ⅰ	2
英語科教育法Ⅱ	2	英語科教育法Ⅱ	2
英語科教育法Ⅲ	2	英語科教育法Ⅲ	2
英語科教育法Ⅳ	2	英語科教育法Ⅳ	2
商業科教育法	4	商業科教育法	4
情報科教育法	4	情報科教育法	4
社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	2	社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	2
社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	2	社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	2
社会科教育法Ⅲ(公民分野)	2	社会科教育法Ⅲ(公民分野)	2
社会科教育法Ⅳ(公民分野)	2	社会科教育法Ⅳ(公民分野)	2
農業科教育法Ⅰ	2	農業科教育法Ⅰ	2
農業科教育法Ⅱ	2	農業科教育法Ⅱ	2
学校栄養指導論Ⅰ	2	学校栄養指導論Ⅰ	2
学校栄養指導論Ⅱ	2	学校栄養指導論Ⅱ	2
教育原理	2	教育原理	2
教師論	2	教師論	2
教育経営論	2	教育経営論	2
教育社会学	2	教育社会学	2
教育心理学	2	教育心理学	2
特別支援教育論	2	特別支援教育論	2
教育課程論	2	教育課程論	2
道德教育論	2	道德教育論	2

変更後			変更前		
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2		特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2	
教育方法論	2		教育方法論	2	
教育における情報通信技術の活用	1				
生徒指導論(進路指導を含む)	2		生徒指導論(進路指導を含む)	2	
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2		教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2	
教育実習Ⅰ	1		教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2		教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	4		教育実習Ⅲ	4	
栄養教育実習Ⅰ	1		栄養教育実習Ⅰ	1	
栄養教育実習Ⅱ	1		栄養教育実習Ⅱ	1	
教職実践演習(中・高)	2		教職実践演習(中・高)	2	
教職実践演習(栄養教諭)	2		教職実践演習(栄養教諭)	2	
地域連携教育活動Ⅰ	2		地域連携教育活動Ⅰ	2	
地域連携教育活動Ⅱ	2		地域連携教育活動Ⅱ	2	
別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科			別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科		
1 中学校教諭一種免許状			1 中学校教諭一種免許状		
免許教科	学部、学科等		免許教科	学部、学科等	
社会	法学部法律学科		社会	法学部法律学科	
	経済学部経済学科			経済学部経済学科	
	現代社会学部現代社会学科			現代社会学部現代社会学科	
現行どおり		省略			

変更後							変更前									
2 高等学校教諭一種免許状							2 高等学校教諭一種免許状									
免許教科	学部、学科等						免許教科	学部、学科等								
公民	法学部法律学科						公民	法学部法律学科								
	経済学部経済学科							経済学部経済学科								
	現代社会学部現代社会学科							現代社会学部現代社会学科								
現行どおり							省略									
3 現行どおり							3 省略									
別表第3 学費							別表第3 学費									
1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。							1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。									
(単位：円)							(単位：円)									
科目・年次		金額					科目・年次		金額							
学部		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	学部		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
現行どおり							省略									
農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—	
	授業料								授業料							
	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—		—	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—		—	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—		—	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—		—	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費									教育充実費						
農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—		

変更後								変更前							
	応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—		応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—		食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
	食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—		食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
現代	入学金	250,000	—	—	—	—	—								
社会	授業料	945,000	945,000	945,000	945,000	—	—								
学部	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—								
2～3 現行どおり								2～3 省略							
別表第4 研究料  (単位：円)								別表第4 研究料  (単位：円)							
学部		金額	備考												
		現行どおり													
農学部		410,000	〃												
現代社会学部		315,000	〃												
別表第5 履修料  (単位：円)								別表第5 履修料  (単位：円)							
学部		金額	備考												
		現行どおり		1単位あたり											
農学部		20,000													
現代社会学部		15,000													
		省略		1単位あたり											
農学部		20,000													

変更後			変更前		
別表第6 在籍料  (単位：円)			別表第6 在籍料  (単位：円)		
学部	前期	後期	学部	前期	後期
現行どおり 農学部 現代社会学部	60,000	60,000	省略 農学部	60,000	60,000

## 摂南大学現代社会学部教授会規定（案）

### （趣旨）

第1条 この規定は、摂南大学学則(以下「学則」という)第7条および組織規定第72条第1項に定める摂南大学現代社会学部教授会(以下「教授会」という)について、必要な事項を定める。

### （教授会の組織）

第2条 教授会は、つぎの者をもって組織する。

イ 現代社会学部長(以下「学部長」という)

ロ 現代社会学部教授(専任に準じる職務を行う特任教授を含む)

2 学部長は、教授会の議を経て、現代社会学部の准教授若干名を教授会に加えることができる。

3 前項に定める准教授の任期は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年とし、重任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠者の任期は、前任者の残任期間とする。

### （審議事項）

第3条 教授会は、現代社会学部の教育研究上のつぎの事項を審議する。

イ 学則および重要な教学にかかる規定に関すること

ロ 学生の入学、卒業および学位の授与に関すること

ハ 単位の認定に関すること

ニ 学生の転学部に関すること

ホ 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生の入学に関すること

ヘ 授業時間割の編成および授業計画、その他大学および現代社会学部の教育方針に関すること

ト 教員の留学に関すること

チ 名誉教授の称号授与等に関すること

リ 学長または学部長が諮問した事項に関すること

ヌ その他現代社会学部の教育研究に関すること

### （報告事項）

第4条 学部長は、教授会に組織規定第72条第1項に定める大学・大学院運営会議および各委員会で審議された、現代社会学部に関する事項を報告するものとする。

### （招集および議長）

第5条 教授会は、学部長が招集し議長となる。

2 学部長に事故があるときまたは欠けたときは、あらかじめ学部長が指名した教授が議長となり、議長の職務を行う。

3 第2条に定める教授会組織員(以下「組織員」という)の3分の1以上の者から、議題を示して請求があれば、学部長は、その招集を決定しなければならない。

### （定足数および表決）

第6条 教授会は、組織員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(員数除外)

第7条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、前条第1項の員数から除外する。

イ 休職者

ロ 海外出張者

ハ 長期欠勤などのために引き続き1か月以上教授会に出席できない者

(議題の事前提出)

第8条 教授会に議題を提出しようとする者は、あらかじめその要領を文書で学部長に提出しなければならない。

2 学部長は、教授会の議に付すべき事項を、主管部署の審議を経たうえで速やかに教授会に提出する。ただし、大学全体の運営に影響を及ぼす事項については、あらかじめ学部長は、学長と協議するものとする。

3 教授会の席上、緊急に提案された議題は、即決することができない。ただし、軽易なものおよび出席者の全員が承認したものについては、この限りでない。

(議事録の調製および呈示)

第9条 議長は、学部事務室長に会議の次第および出席者の氏名等を記載した議事録を調製させなければならない。

2 議事録には、議長および議長が指名した組織員2名が署名しなければならない。

3 議事録は、学部事務室で保管し、組織員の請求があるときは、これを呈示しなければならない。

(関係職員の出席)

第10条 議長は、必要があると認めたとき、組織員以外の職員を教授会に出席させ、議事に関し、これに説明をさせまたは意見を述べさせることができる。ただし、表決に加えることはできない。

(欠席届および議事録による了知)

第11条 教授会に欠席する者は、欠席届をあらかじめ学部事務室を経て学部長に提出しておかななければならない。

2 教授会に欠席した者は、その経緯を議事録によって了知するものとする。

(教授会の庶務)

第12条 教授会の庶務は、学部事務室で取り扱う。

(運営細則)

第13条 この規定に定めるもののほか、教授会の運営に関し必要な事項は、教授会の議を経て学部長が定める。

(規定の改廃)

第14条 この規定の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事長が行う。

付 則

1 この規定は、2023年4月1日から施行する。